

平成19年度産業保健調査研究報告書

山口県における
労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)
導入前後の労働衛生管理

平成20年 3 月

独立行政法人 労働者健康福祉機構
山口産業保健推進センター

平成19年度産業保健調査研究報告書

山口県における
労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)
導入前後の労働衛生管理

平成20年 3 月

独立行政法人 労働者健康福祉機構
山口産業保健推進センター

目 次

背景・目的	1
結果	2
まとめ	4

調査票集計

A票 事前調査導入・構築中事業場用質問票	5
A票 労働者参加割合5割以下	14
A票 労働者参加割合5割より多い	23
B票 事前調査未導入事業場用質問票	32
C票 事前調査未回答事業場用質問票	35

労働安全衛生マネジメントシステムに関する調査票

背景・目的

わが国の労働人口のうち、いわゆる団塊の世代といわれる60歳前後の就労者が退職の時期を迎えている。団塊の世代の大量退職により、企業における安全衛生管理の技術が若い世代に移転されない危惧がある。特に近年労働災害が減少してきて、労働者には災害の経験が少なく労働安全衛生に関する意識が高まりにくい。一方で高齢者の増加で生活習慣病にかかわる有所見者が半数近くになっており、中毒事故発生も少数ながら続いている。このような背景において労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）が導入されてきた。OSHMSは、自主的な安全衛生活動で、危険防止を総合的に企画立案し、実行するものである。安全衛生活動の促進のための環境整備としてOSHMSの役割に期待も大きい。しかし、OSHMSの普及は十分とはいいがたい。さらに、安全衛生のうちでも、産業医等の関与が不可欠である労働衛生（健康）のリスク管理が十分でないという指摘もある。

今回、山口県のOSHMSの導入状況の実態を把握し、導入による効果を検討し、OSHMSの普及促進の広報資料作成および普及施策立案のための資料作成のために調査を行った。業種によりOSHMSの内容や課題が大きく違ふと考え、比較的事業所が多く、安全衛生上の課題の多い製造業を対象とした。特にOSHMSを導入している場合には導入前後での変化について質問を行った。今回の調査は状況把握であり、ひとつの事業所のひとりの担当者に回答してもらい、さらに承諾が得られた事業所には訪問し聴き取りを行った。

調査方法

対象

山口県内の製造業事業場で、従業員数100人以上の事業場とした。平成19年7月時点で、山口県内の労働者数100人以上の製造業事業場は226事業場あった。平成18年12月の事前調査で、OSHMS運用中36事業場、構築中25事業場、準備段階69事業場、未導入54事業場、未回答42事業場であった。事前調査と本調査の時間のずれがあるため準備段階の69事業場は調査の対象から除いて、157事業場に調査用紙を送付した。

方法

平成19年9月に対象事業場に質問票を送付し、10月に回答を返送してもらった。OSHMSは認証機関の認証を受けているか受けていないかにかかわらず、次の3項目を満たしていることとした。1) 危害防止基準の確立、2) 自主活動の促進 参加型の活動、3) 総合的計画的な対策の実施。OSHMS運用中および構築中の61事業場には、導入前と導入してからの状況を質問する質問票（A票、付録）を郵送した。導入の利点、欠点と、安全衛生上の課題について項目をあげて質問をした。内容を詳細に検討するため、訪問して面接が可能な場合のみ、回答する質問票に担当者氏名を記入してもらった。未導入および事前調査で未回答の事業場には、現在の導入状況と、安全衛生上の課題を質問する質問票（B、

C票、付録、それぞれ未導入、未回答事業場対象であるが、質問内容は同一)を郵送した。いずれも送付は安全衛生管理者に宛てた。

データのまとめ

調査票は、それぞれA、B、C票で、質問ごとに回答数を集計した。A票の回答ではさらに自発的な取り組みを考慮して、労働者の参加割合で2分して集計を行った。

結 果

回答数

事前調査で運用中あるいは構築中であった事業場を対象としたA票は61事業場に配布し、40事業場(66%)から回答があった。そのうち運用しているあるいは構築している事業場は、31事業場(78%)であった(問3)。

事前調査で未導入であった事業場を対象としたB票は54事業場に配布し、35事業場(65%)から回答があった。そのうち運用しているあるいは構築している事業場は3事業場(10%)で、導入していないのは29事業場(54%)であった(問3)。

事前調査で未回答であった事業場を対象としたC票は42事業場に配布し、22事業場(52%)から回答があった。そのうち運用しているあるいは構築している事業場は4事業場(18%)で、導入していないのは14事業場(64%)であった(問3)。

表. 調査回答数

事前調査	運用している	構築している	準備している	導入していない
A票 運用・構築中	61 28 (90%)	3 (10%)	4 (13%)	5 (16%)
B票 未導入	54 1 (2%)	2 (4%)	3 (6%)	29 (54%)
C票 未回答	42 3 (7%)	1 (2%)	4 (10%)	14 (33%)

A票 導入・構築中事業場用質問票の集計

回答は化学工業事業場が多かった(15事業場)。運用しているあるいは構築している31事業場についてまとめた。

導入(問4、5) 多くの事業場がグループ会社の取り組みを参考に行っていた(問4)。また導入している事業場でも15事業場(48%)は認証を受けていなかった(問5)。

リストアップ(問8、10) 社員からの提案やヒヤリ・ハット事例を参考に危険源(リスク)をリストアップしている事業場が多かった(問8)。件数が千件を超える事業場は10事業場で1/3程度(32%)であった(問10)。

労働者の参加割合（問12） リスク評価や対策に参加している労働者が3割以下という回答は14事業場（45%）、5割以下が17事業場（55%）、7割以上が14事業場（45%）であった。

導入による変化（問13、14、15） 事故や災害が減ったという事業場が13事業場（42%）、OSHMS過程の監査の指摘件数が減少してきている事業場が12事業場（39%）もあり、好ましい結果であった（問13）。また社員の関心が高まったという回答も多かった（26事業場、84%）（問13）。一方、ヒヤリ・ハット件数が増加している事業場が9事業場（29%）もあった。主観的にも、安全衛生水準の向上や職場のリスクが減少したという回答が多かった（問15）。しかし、導入が経営に貢献したという回答はわずかで（問16）、導入による一般業務への支障や高い費用も問題であるようであった（問14、16）。

導入について（問17、18） リスクのリストアップから立案には困難を感じているという回答が半数以上であった（問17）。分野別では、機械・器具などの設備や作業・作業手順に関する項目でOSHMSが奏効しているという回答が多かった。実施困難と考えているのは、健康保持増進、メンタルヘルスなどの衛生面で、半数以上が困難と回答していた（それぞれ52、55%）（問18）。

労働者の参加割合が低い事業場（5割以下）と高い事業場（5割を超える）に分けてまとめた。

労働者の参加割合が高い事業場では、事故災害発生件数が減少したという回答が多く（参加割合高い57%、低い29%）、監査での指摘件数の減少も多かった（問13）。一方、参加割合が高い事業場では一般業務への支障が増えたという回答も多かった。しかし、主観的な成功感や対策費などのマイナス面ではそれほど違いはないようであった。導入にあたっての困難なことも大きな違いはないようであった。

B票 未導入事業場用質問票の集計

A票の回答事業場は化学工業が多かったが、B票の回答事業場は食料、衣服、木材、紙を扱う業種が多かった（問1）。未導入29事業場で、導入してないあるいは導入が困難な理由は、導入方法がわからない（12事業場、41%）、OSHMSを知らない（11事業場、38%）、スタッフが足りないという理由が多く（10事業場、34%）、効果がわからないという回答は7事業場であった（24%）（問5）。現状の事故災害は、まだ減らせるという認識は多かったが、現状で件数や将来の増加などの危機感があるようではなかった（問6）。

C票 事前調査で未回答であった事業場用質問票の集計

この調査票の回答業種は、「その他」と回答する事業場が多かった（問1）。未導入14事業場で、B票の回答よりも導入を考えている事業場が多いが（57%と24%、それぞれC票とB票）、導入が困難な理由としてスタッフが足りないという回答が最も多く（64%）、

OSHMSを知らないという回答は少なかった(2事業場、14%)。現状の危機感はB票の回答よりも少ないようであった(問6、現状の事故災害件数が多いという回答7%と10%、それぞれC票とB票)。

訪問調査

グループ会社、会社本体からOSHMSに取り組むように指示があることが多いようであるが、それぞれ創意工夫を凝らしていることがわかった。

ま と め

OSHMSの導入によって、事故災害件数が減少するという効果がある程度期待でき、今後OSHMSの利点として広く知ってもらえる必要がある。さらに、社員の関心の高まりや成功感はOSHMSの利点となりうる。労働者が多く参加することは、OSHMSの自主参加という重要な要素であり、多く参加した事業場では事故災害件数が減った事業場が多く、多くの労働者の参加を促進すべきである。しかし導入には費用もかかるし、業務が増えるという欠点があり、OSHMSの普及に際して十分に配慮する必要がある。

未導入の事業場には、導入事業場と業種の違いもあるようで、経営状況など社会的な背景があるかもしれない。その点では、費用不足やスタッフ不足を簡単に解決できないかもしれない。未導入の理由で、導入方法がわからないという回答があった。導入済みの事業場ではグループ会社を参考にしているという回答や、他の認証(ISO)などの経験が役立ったという訪問調査結果もあり、導入にあたった経験者の活用が有効かもしれない。また、OSHMSを知らない事業場や、効果がわからないという事業場もあるので、産業保健推進センターとして、今回の調査結果を元に資料作成などに役立て、普及促進を進めていく必要がある。とくに組織的に展開されるなかで労働衛生上の問題は取り組みが難しいという意見があるので、安全および衛生のスタッフの連携をさらに密にして設備上の問題、健康管理上の問題について取り上げていくように指導をする必要がある。

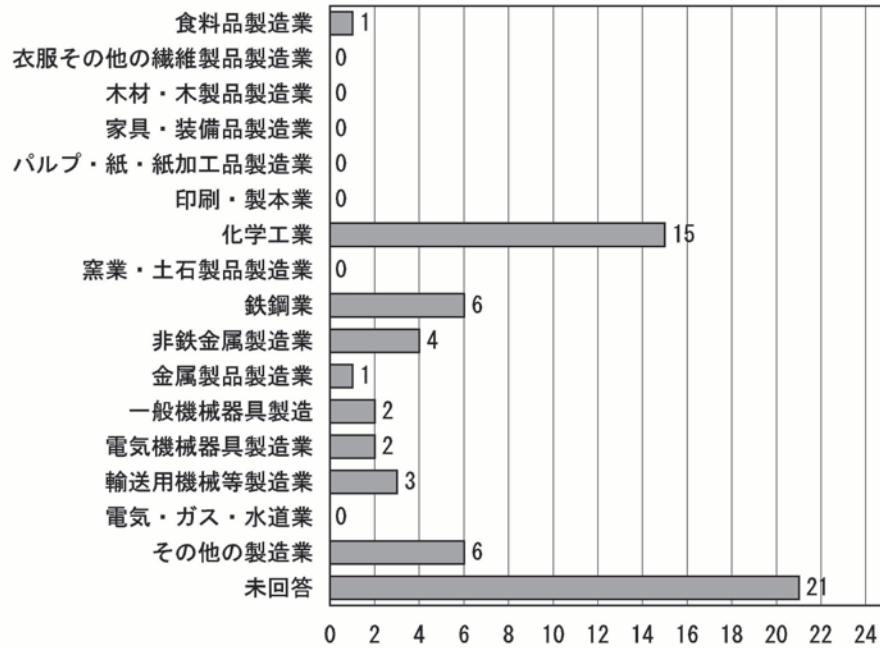
研究体制

赤川悦夫 山口産業保健推進センター所長
芳原達也 山口産業保健推進センター基幹相談員
奥田昌之 山口産業保健推進センター基幹相談員
清藤正裕 山口産業保健推進センター基幹相談員
國次一郎 山口大学大学院医学研究科助教
杉山真一 山口大学大学院医学研究科助教

調 査 票 集 計

A

問1 貴事業場の業種はどれですか。

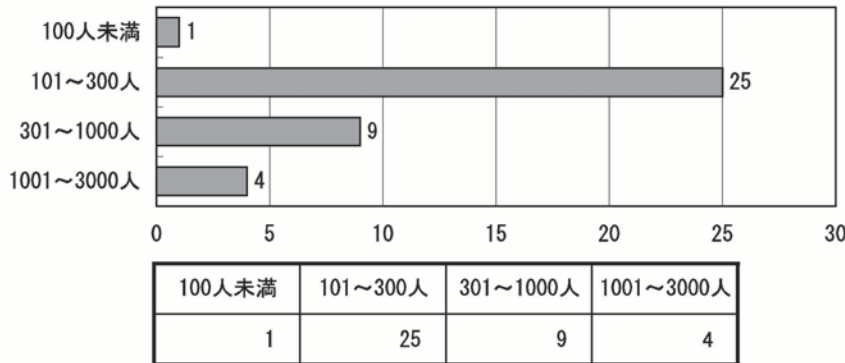


1 食料品製造業	1
2 衣服その他の繊維製品製造業	0
3 木材・木製品製造業	0
4 家具・装備品製造業	0
5 パルプ・紙・紙加工品製造業	0
6 印刷・製本業	0
7 化学工業	15
8 窯業・土石製品製造業	0
9 鉄鋼業	6
10 非鉄金属製造業	4
11 金属製品製造業	1
12 一般機械器具製造	2
13 電気機械器具製造業	2
14 輸送用機械等製造業	3
15 電気・ガス・水道業	0
16 その他の製造業	6
17 未回答	21
計	61

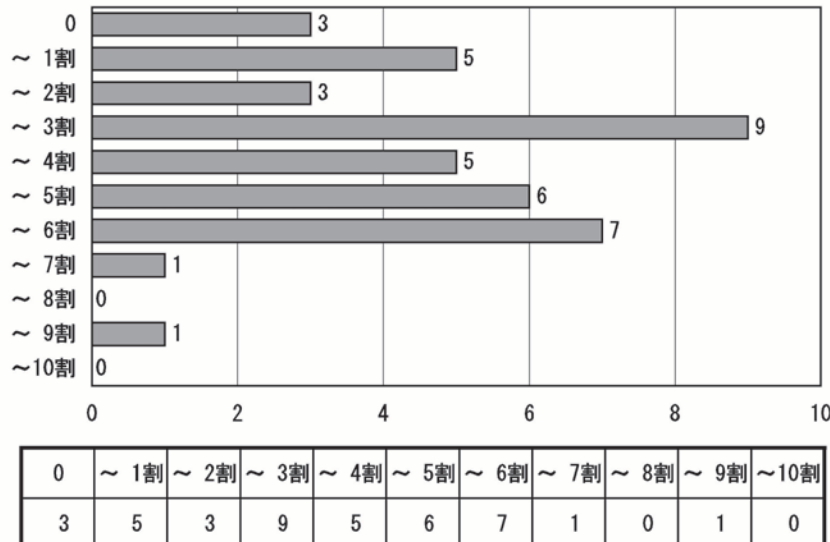
A

問2 貴事業場の労働者数は何人ですか(マネジメント認証を受けている場合はその単位でお答えください)。そのうち、交代勤務者の割合はどれくらいですか。

2-1 労働者数

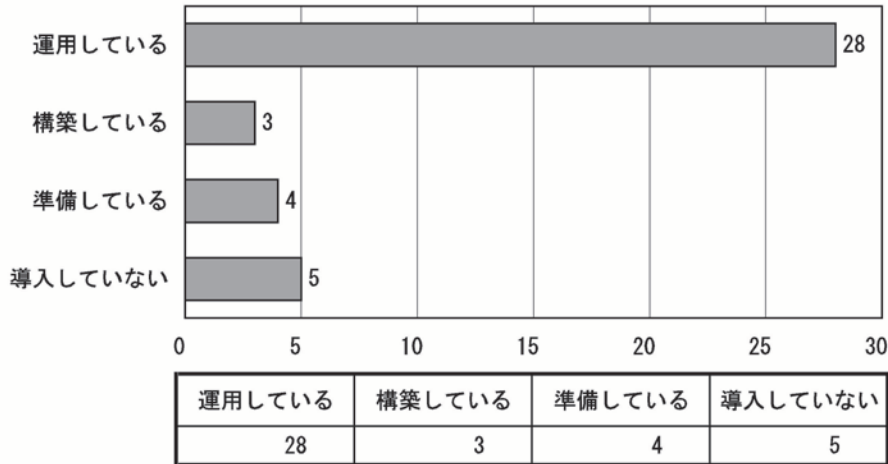


2-2 交代勤務者



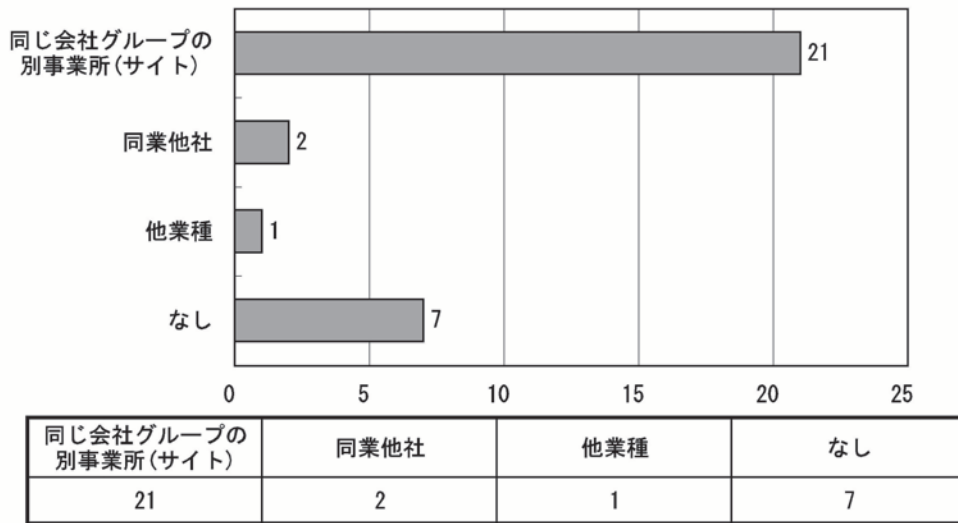
A

問3 OSHMSを導入していますか。



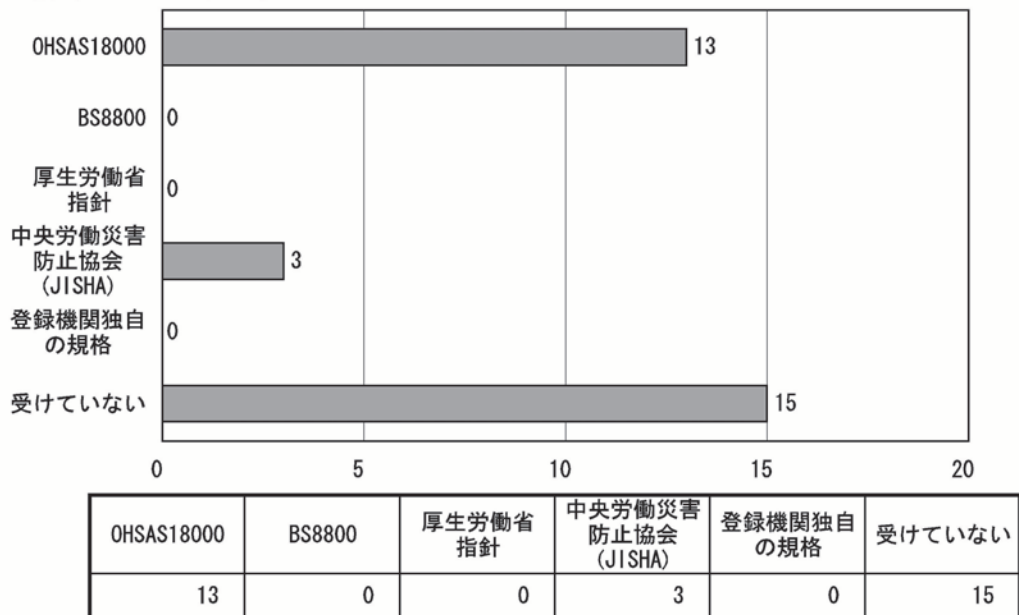
A

問4 他事業場の取組みを参考にしましたか。もっとも参考にしたものをひとつ選んでください。



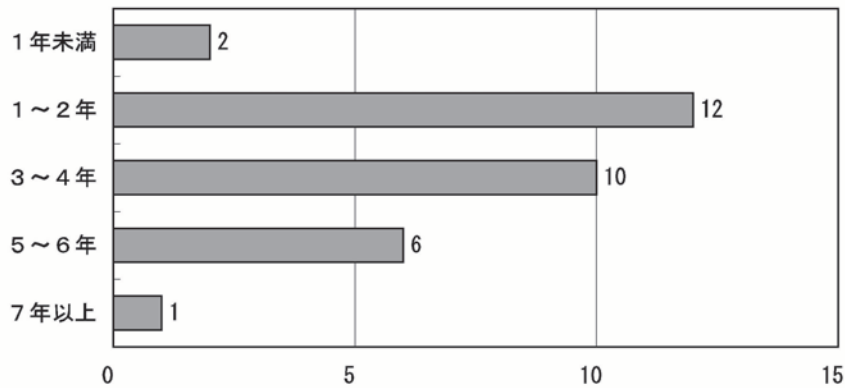
A

問5 認証を受けていますか。



A

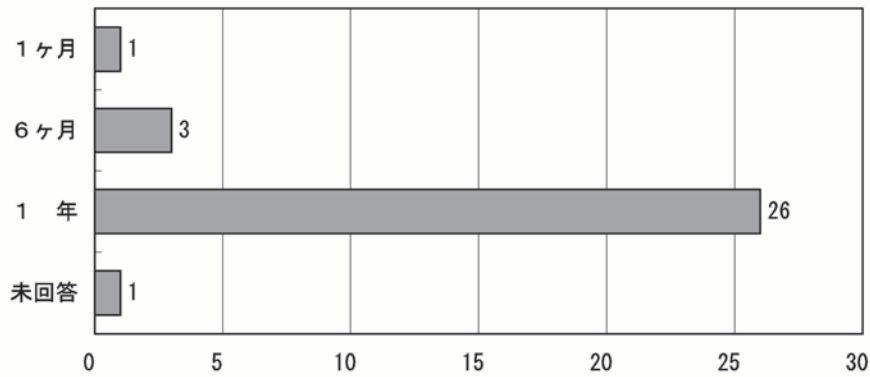
問6 導入してからどのくらい経過していますか。



1年未満	1～2年	3～4年	5～6年	7年以上
2	12	10	6	1

A

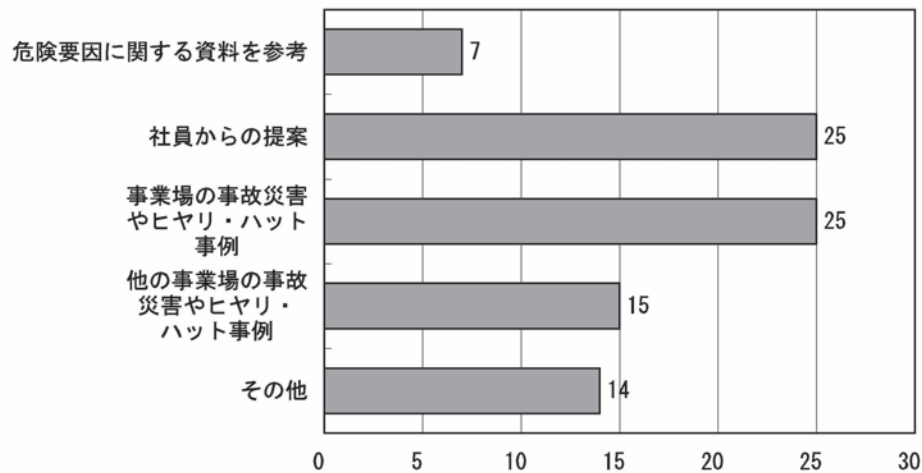
問7 計画の見直しはどのくらいの間隔で行っていますか。



1ヶ月	6ヶ月	1年	未回答
1	3	26	1

A

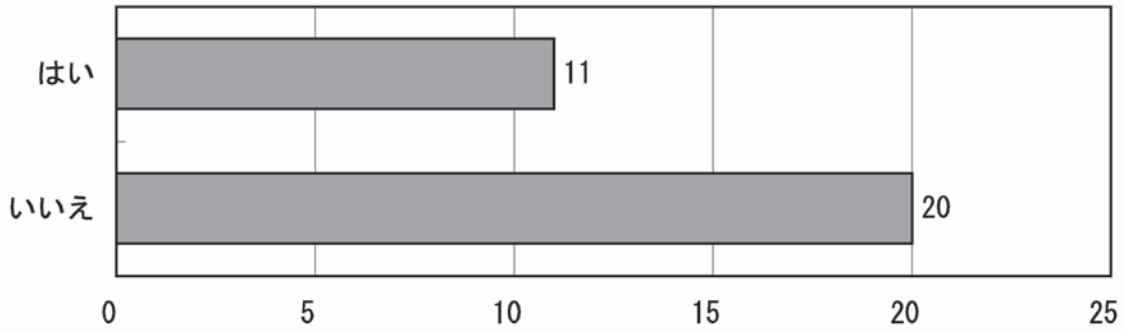
問8 危険源のリストアップはどのように行っていますか。



危険要因に関する資料を参考	社員からの提案	事業場の事故災害やヒヤリ・ハット事例	他の事業場の事故災害やヒヤリ・ハット事例	その他
7	25	25	15	14

A

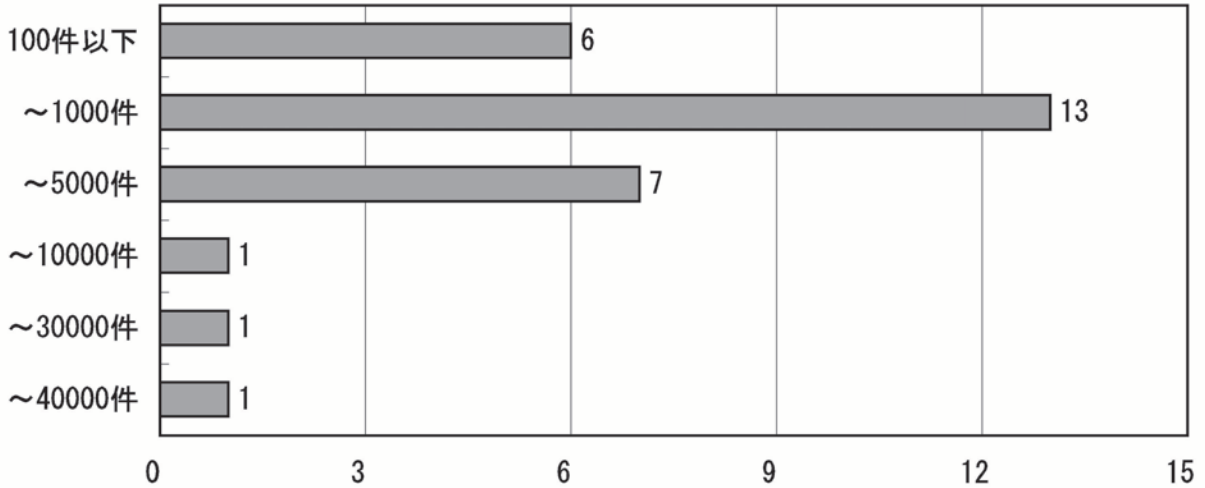
問9 社員からのリスクの提案に報奨がありますか。



はい	いいえ
11	20

A

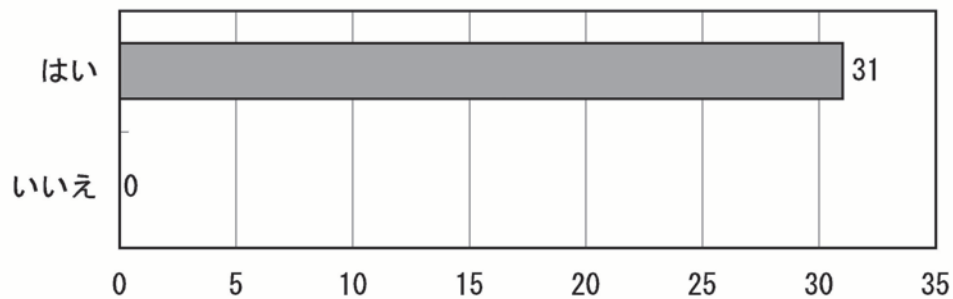
問10 現在構築しているOSHMS(あるいは構築中)で、リスクのリストアップは何件ありましたか。(ありますか)。



100件以下	~1000件	~5000件	~10000件	~30000件	~40000件
6	13	7	1	1	1

A

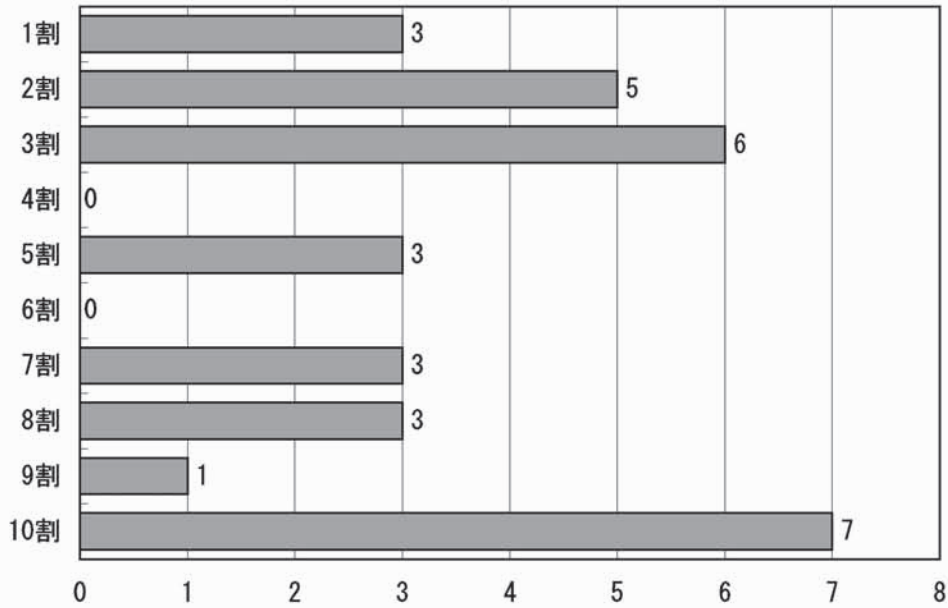
問11 リスクの見積もりや評価の方法に基準がありますか。



はい	いいえ
31	0

A

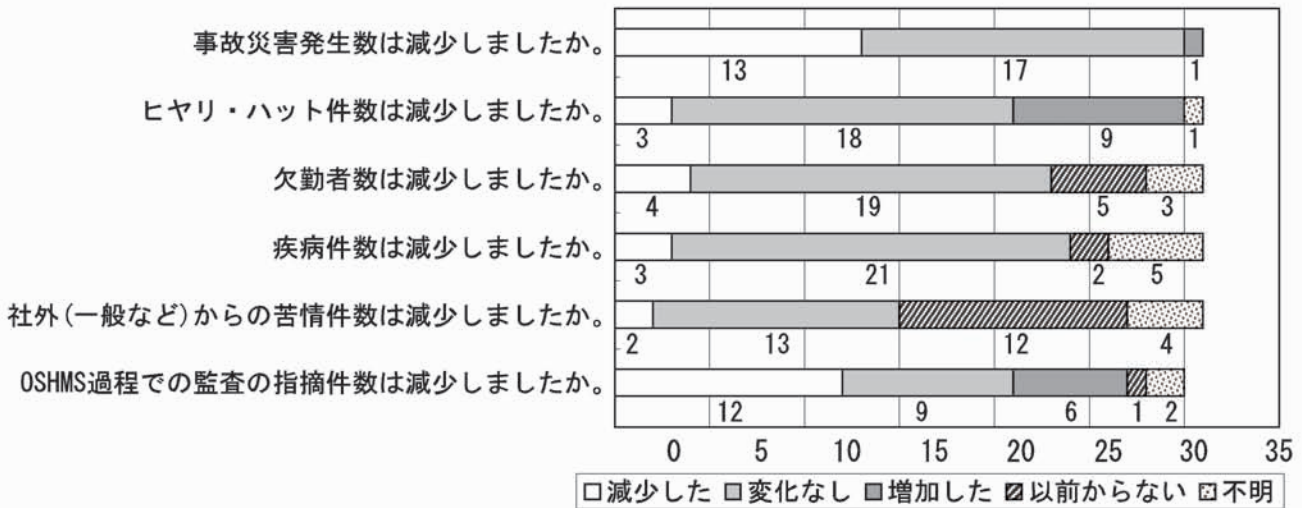
問12 全スタッフのうち何割の人が、リスクの評価や対策の検討に参加していますか。



1割	2割	3割	4割	5割	6割	7割	8割	9割	10割
3	5	6	0	3	0	3	3	1	7

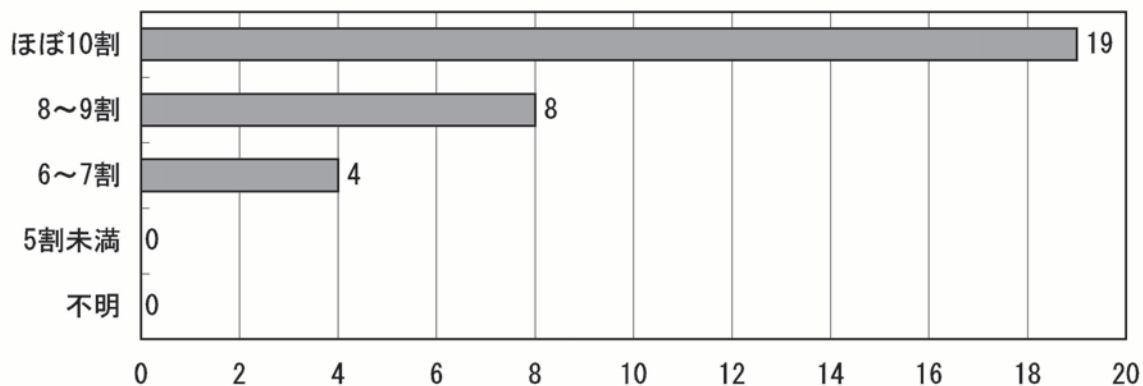
A

問13 【プラス面】



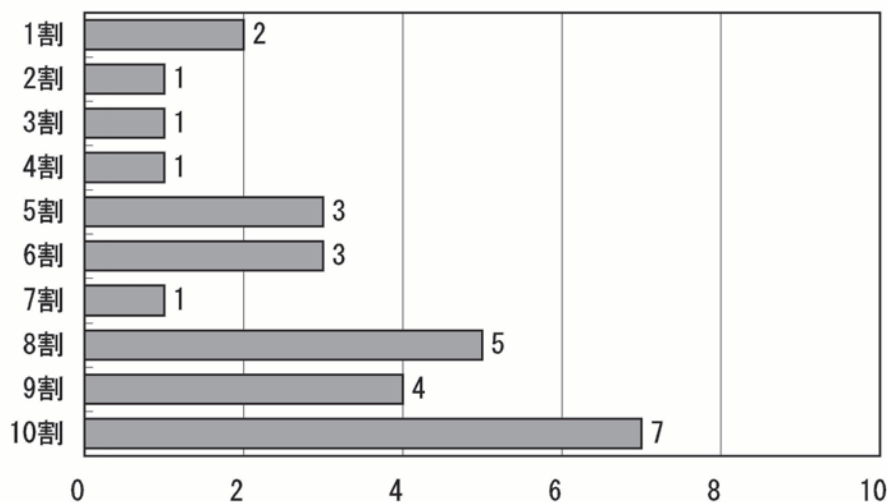
		減少した	変化なし	増加した	以前からない	不明
13-1	事故災害発生数は減少しましたか。	13	17	1	0	0
13-2	ヒヤリ・ハット件数は減少しましたか。	3	18	9	0	1
13-3	欠勤者数は減少しましたか。	4	19	0	5	3
13-4	疾病件数は減少しましたか。	3	21	0	2	5
13-5	社外(一般など)からの苦情件数は減少しましたか。	2	13	0	12	4
13-8	OSHMS過程での監査の指摘件数は減少しましたか。	12	9	6	1	2

目標としたモニタリング回数、教育・訓練回数(実施計画)は達成しましたか。



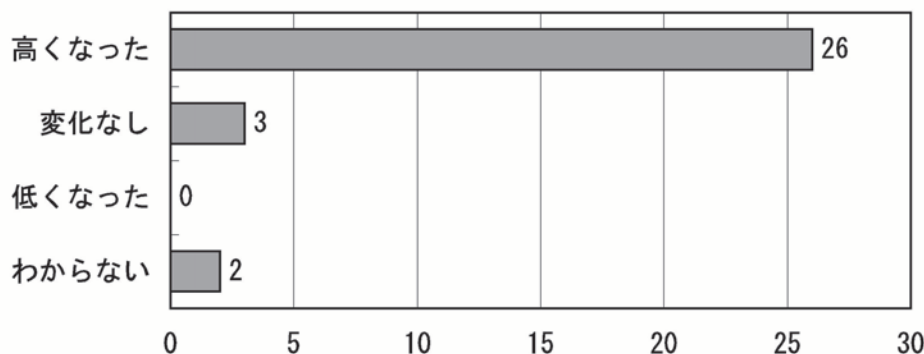
		ほぼ10割	8~9割	6~7割	5割未満	不明
13-6	目標としたモニタリング回数、教育・訓練回数(実施計画)は達成しましたか。	19	8	4	0	0

最近1年間で完了したリスクアセスメントは計画件数のうち何割くらいですか。



		1割	2割	3割	4割	5割	6割	7割	8割	9割	10割
13-7	最近1年間で完了したリスクアセスメントは計画件数のうち何割くらいですか。	2	1	1	1	3	3	1	5	4	7

社員の関心は高まりましたか

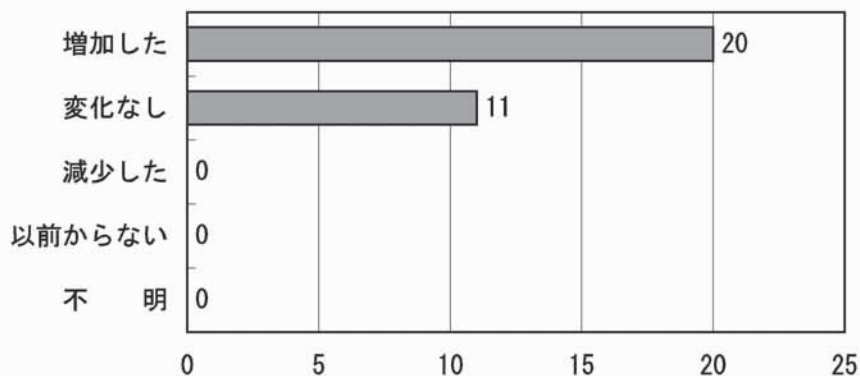


		高くなった	変化なし	低くなった	わからない
13-9	社員の関心は高まりましたか。	26	3	0	2

A

【マイナス面】

問14 OSHMSの実施によって一般業務への支障が増えましたか。

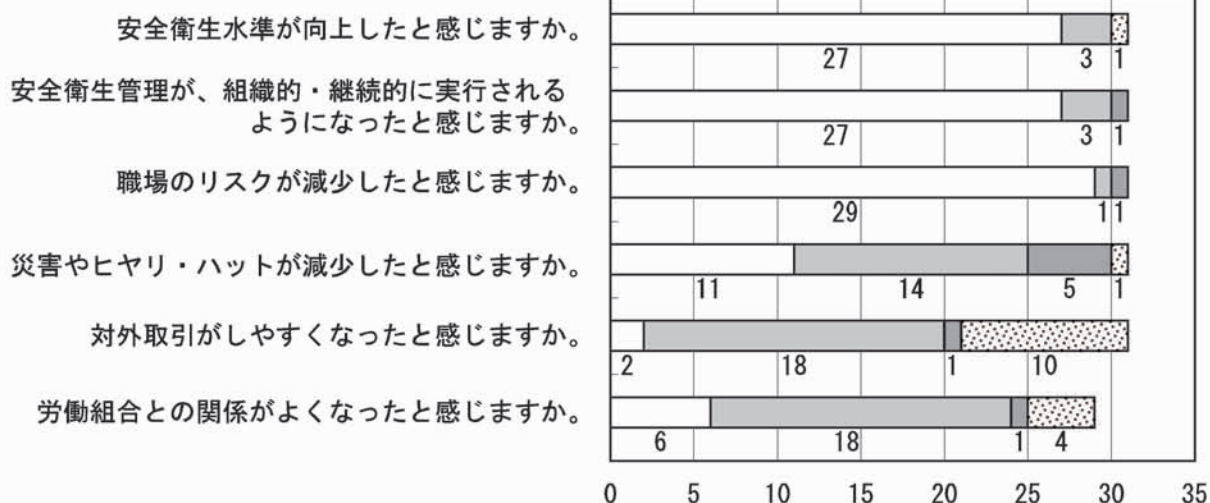


増加した	変化なし	減少した	以前からない	不明
20	11	0	0	0

A

【成功感】

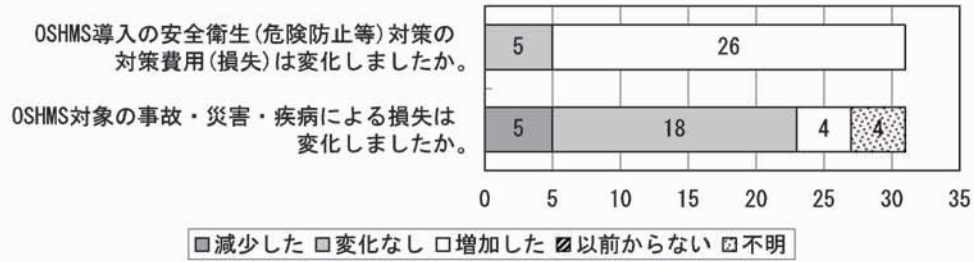
問15



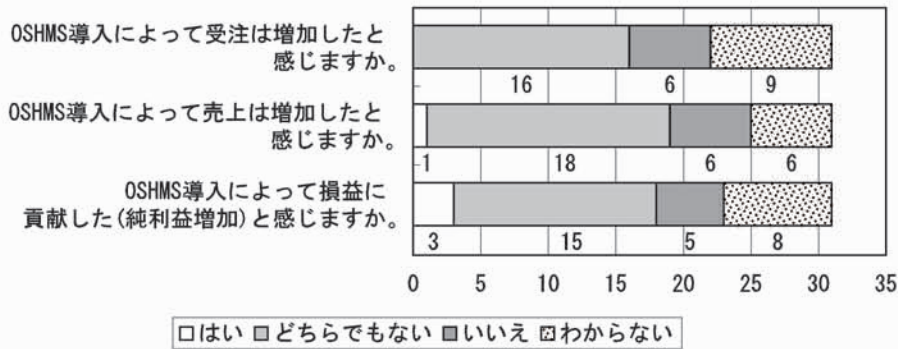
□はい □どちらでもない □いいえ □わからない

	はい	どちらでもない	いいえ	わからない
15-1 安全衛生水準が向上したと感じますか。	27	3	0	1
15-2 安全衛生管理が、組織的・継続的に実行されるようになったと感じますか。	27	3	1	0
15-3 職場のリスクが減少したと感じますか。	29	1	1	0
15-4 災害やヒヤリ・ハットが減少したと感じますか。	11	14	5	1
15-5 対外取引がしやすくなったと感じますか。	2	18	1	10
15-6 労働組合との関係がよくなったと感じますか。	6	18	1	4

A
【全 体】
問16

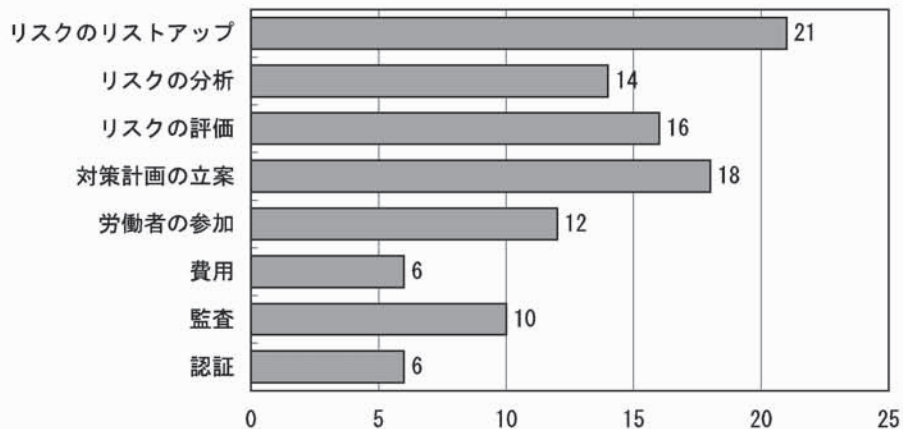


		減少した	変化なし	増加した	以前からない	不明
16-1	OSHMS導入の安全衛生(危険防止等)対策の対策費用(損失)は変化しましたか。	0	5	26	0	0
16-2	OSHMS対象の事故・災害・疾病による損失は変化しましたか。	5	18	4	0	4



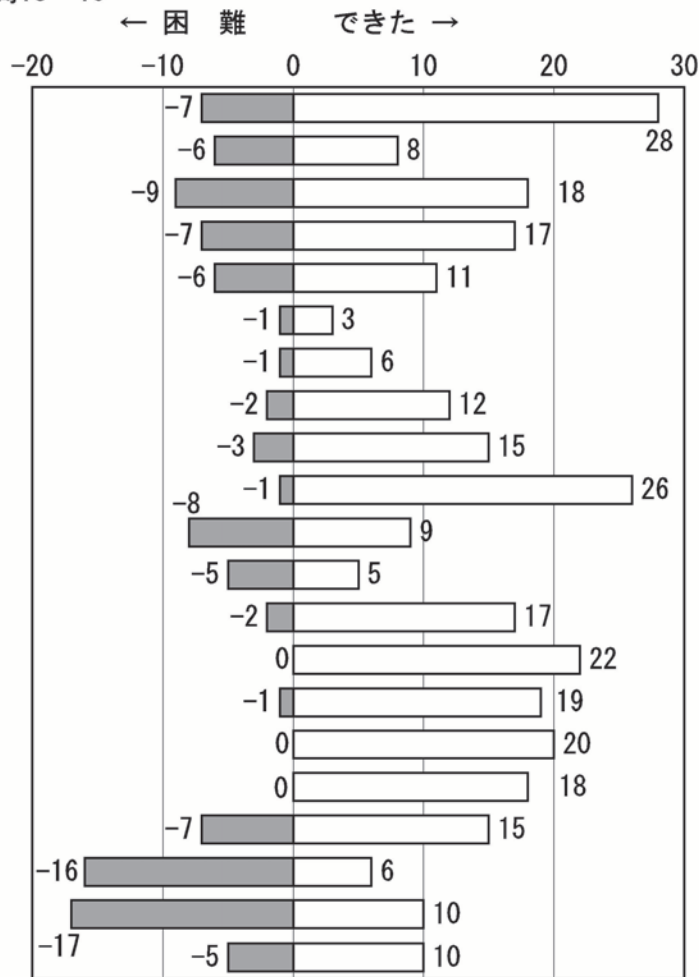
		はい	どちらでもない	いいえ	わからない
16-3	OSHMS導入によって受注は増加したと感じますか。	0	16	6	9
16-4	OSHMS導入によって売上は増加したと感じますか。	1	18	6	6
16-5	OSHMS導入によって損益に貢献した(純利益増加)と感じますか。	3	15	5	8

A
問17 導入、維持で困難な作業はどれでしたか(どれですか)。



リスクのリストアップ	リスクの分析	リスクの評価	対策計画の立案	労働者の参加	費用	監査	認証
21	14	16	18	12	6	10	6

A
問18・19

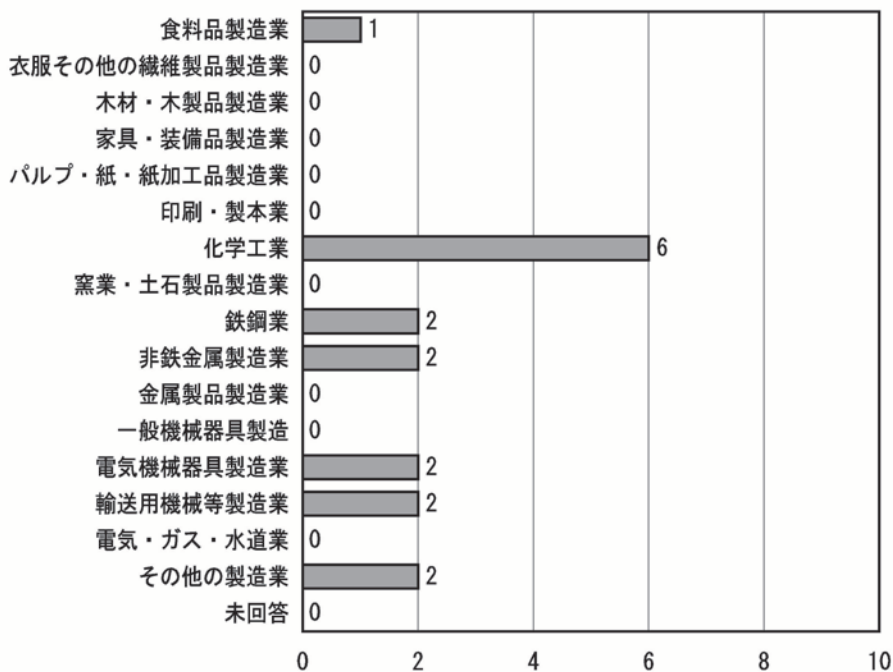


- a 機械・器具などの設備
- b 電気設備、建屋などの設備
- c 有害要因
- c1 化学物質、粉じん、酸素欠乏
- c2 騒音・振動
- c3 電離放射線、有害光線
- c4 温熱条件
- c5 その他の爆発性、発火性、引火性物質
- d 作業環境や、快適な職場環境
- e 作業、作業手順
- f 関係請負事業場に関すること
- g 交通災害や運搬業務
- h 安全衛生教育
- i 安全衛生活動
- i1 危険予知活動(KY)
- i2 4S活動(整理、整頓、清潔、清掃)
- i3 ヒヤリ・ハット報告活動
- j 緊急事態への対応(自然災害、火事)
- k 健康保持増進(生活習慣病対策)
- l 労働環境(過重労働、メンタルヘルス)
- m 喫煙対策

	問18 OSHMS実施で対策が奏効している分野はどれですか。	問19 OSHMS導入において、計画立案、対策が困難と感じる分野はどれですか。
a 機械・器具などの設備	28	7
b 電気設備、建屋などの設備	8	6
c 有害要因	18	9
c1 化学物質、粉じん、酸素欠乏	17	7
c2 騒音・振動	11	6
c3 電離放射線、有害光線	3	1
c4 温熱条件	6	1
c5 その他の爆発性、発火性、引火性物質	12	2
d 作業環境や、快適な職場環境	15	3
e 作業、作業手順	26	1
f 関係請負事業場に関すること	9	8
g 交通災害や運搬業務	5	5
h 安全衛生教育	17	2
i 安全衛生活動	22	0
i1 危険予知活動(KY)	19	1
i2 4S活動(整理、整頓、清潔、清掃)	20	0
i3 ヒヤリ・ハット報告活動	18	0
j 緊急事態への対応(自然災害、火事)	15	7
k 健康保持増進(生活習慣病対策)	6	16
l 労働環境(過重労働、メンタルヘルス)	10	17
m 喫煙対策	10	5

A50%以下

問1 貴事業場の業種はどれですか。

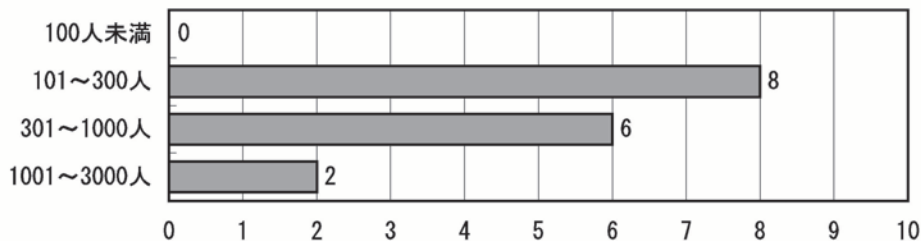


1	食料品製造業	1
2	衣服その他の繊維製品製造業	0
3	木材・木製品製造業	0
4	家具・装備品製造業	0
5	パルプ・紙・紙加工品製造業	0
6	印刷・製本業	0
7	化学工業	6
8	窯業・土石製品製造業	0
9	鉄鋼業	2
10	非鉄金属製造業	2
11	金属製品製造業	0
12	一般機械器具製造業	0
13	電気機械器具製造業	2
14	輸送用機械等製造業	2
15	電気・ガス・水道業	0
16	その他の製造業	2
17	未回答	0
計		17

A50%以下

問2 貴事業場の労働者数は何人ですか(マネジメント認証を受けている場合はその単位でお答えください)。そのうち、交代勤務者の割合はどれくらいですか。

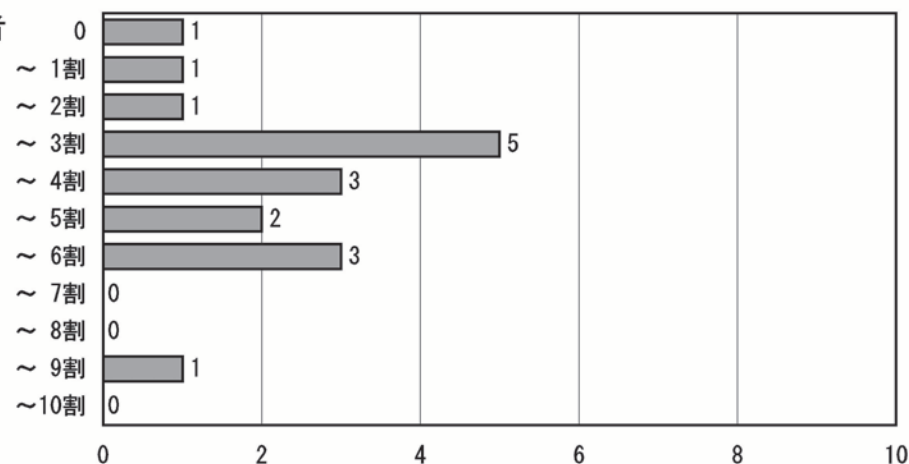
2-1 労働者数



2-1 労働者数

労働者数	100人未満	101~300人	301~1000人	1001~3000人
	0	8	6	2

2-2 交代勤務者



2-2 交代勤務者の割合

交代勤務者の割合	0	~ 1割	~ 2割	~ 3割	~ 4割	~ 5割	~ 6割	~ 7割	~ 8割	~ 9割	~ 10割
	1	1	1	5	3	2	3	0	0	1	0

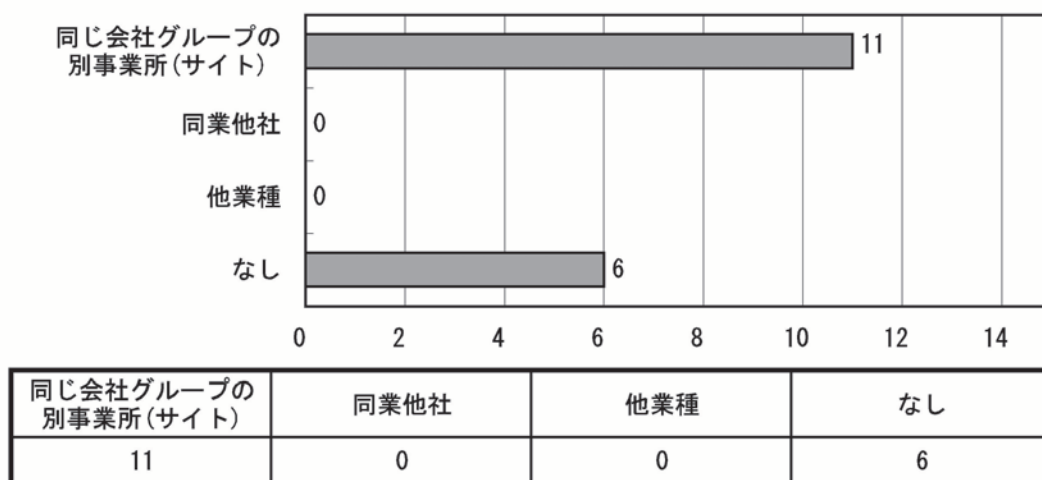
A50%以下

問3 OSHMSを導入していますか。



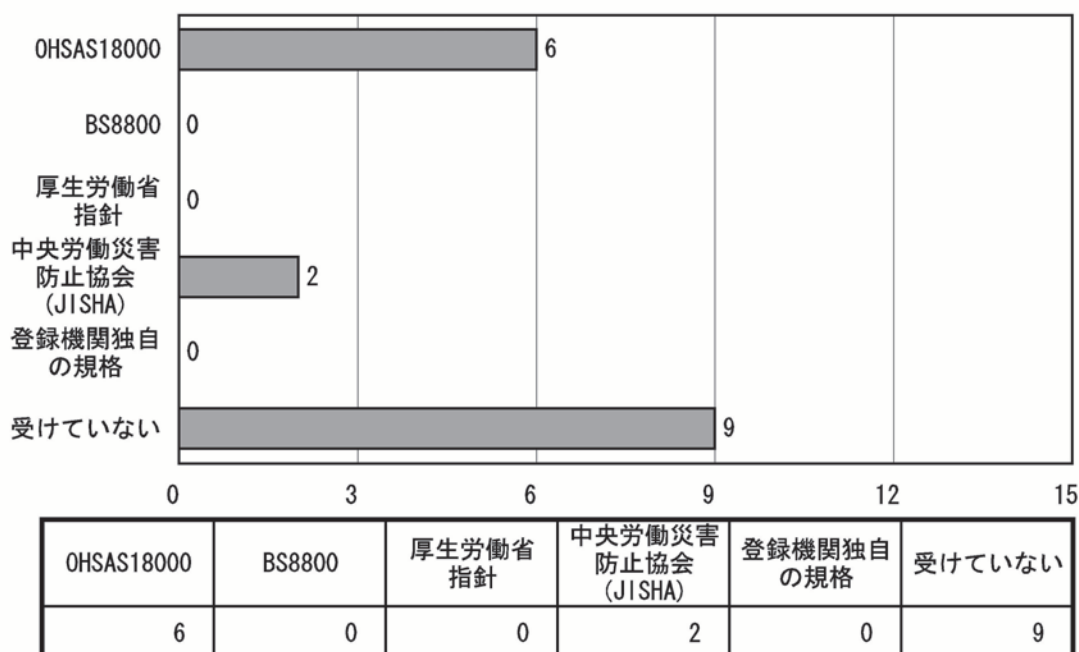
A50%以下

問4 他事業場の取組みを参考にしましたか。もっとも参考にしたものをひとつ選んでください。



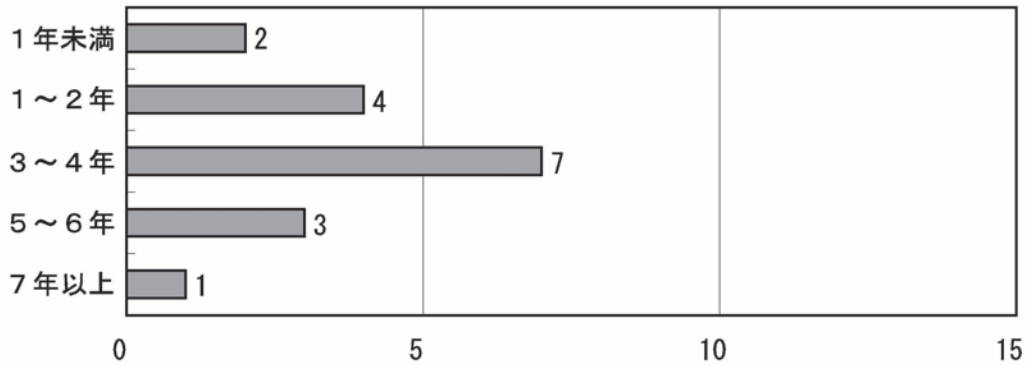
A50%以下

問5 認証を受けていますか。



A50%以下

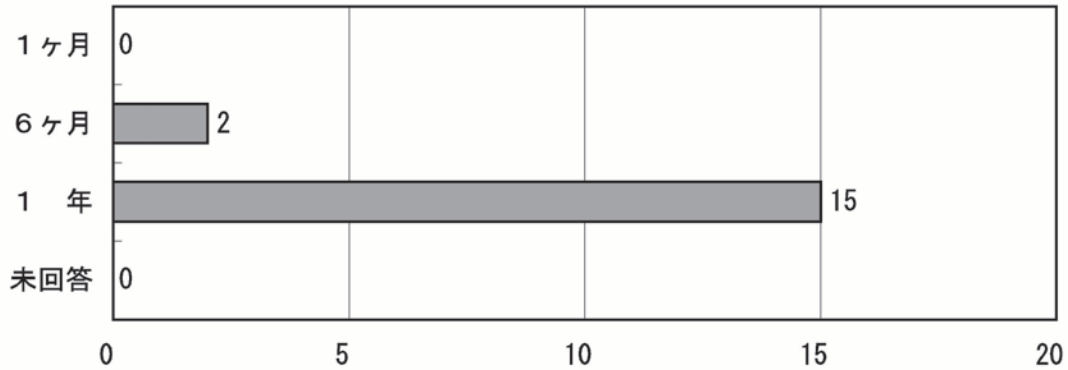
問6 導入してからどのくらい経過していますか。



1年未満	1~2年	3~4年	5~6年	7年以上
2	4	7	3	1

A50%以下

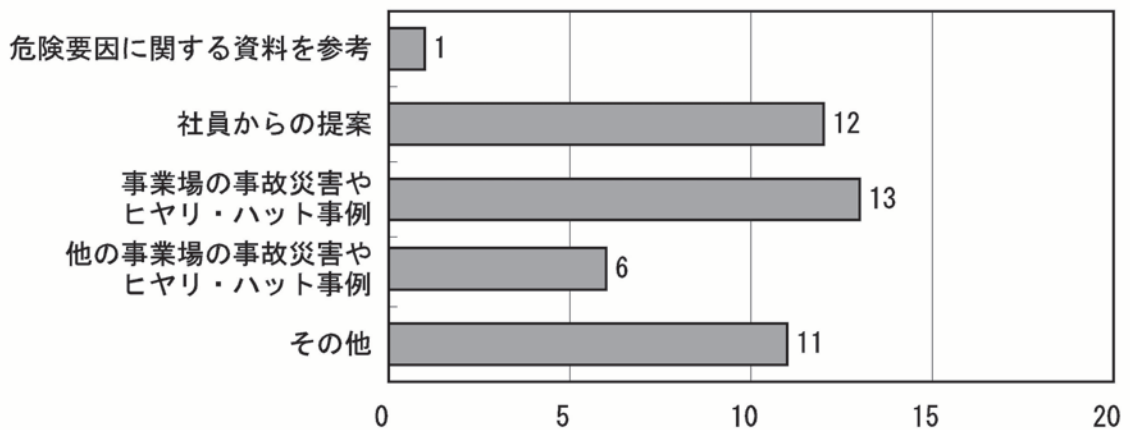
問7 計画の見直しはどのくらいの間隔で行っていますか。



1ヶ月	6ヶ月	1年	未回答
0	2	15	0

A50%以下

問8 危険源のリストアップはどのように行っていますか。



危険要因に関する資料を参考	社員からの提案	事業場の事故災害やヒヤリ・ハット事例	他の事業場の事故災害やヒヤリ・ハット事例	その他
1	12	13	6	11

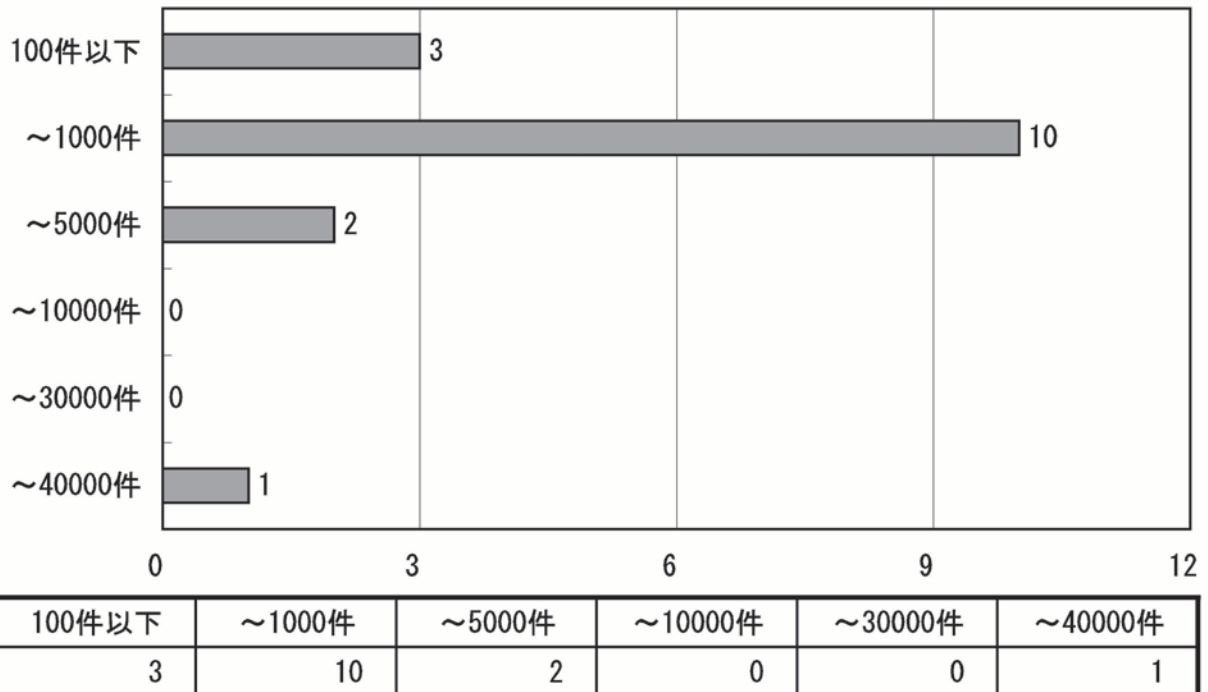
A50%以下

問9 社員からのリスクの提案に報奨がありますか。



A50%以下

問10 現在構築しているOSHMS(あるいは構築中)で、リスクのリストアップは何件ありましたか。(ありますか)。



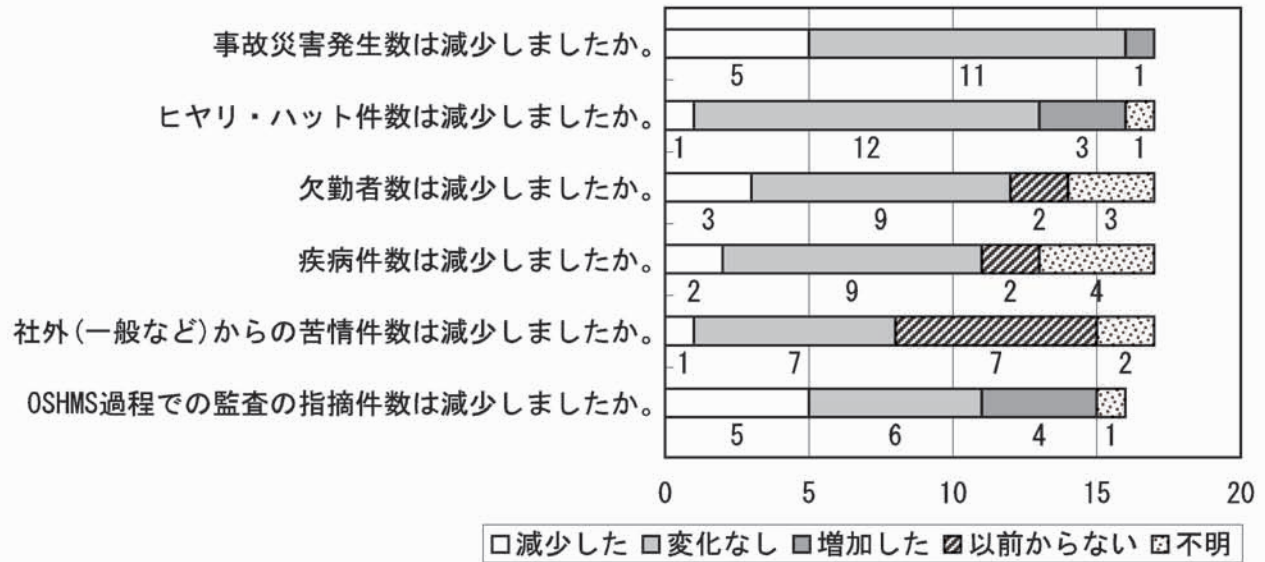
A50%以下

問11 リスクの見積もりや評価の方法に基準がありますか。

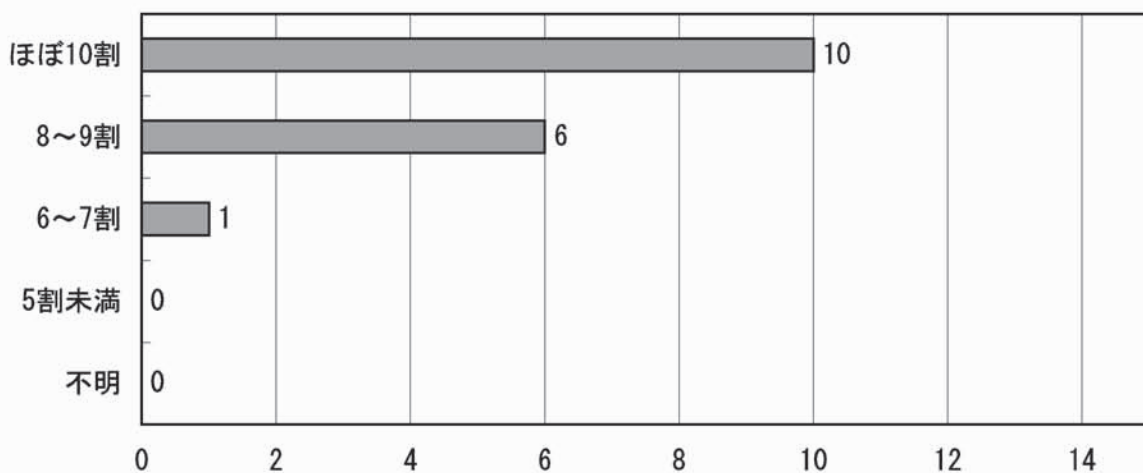


A50%以下

問13 【プラス面】

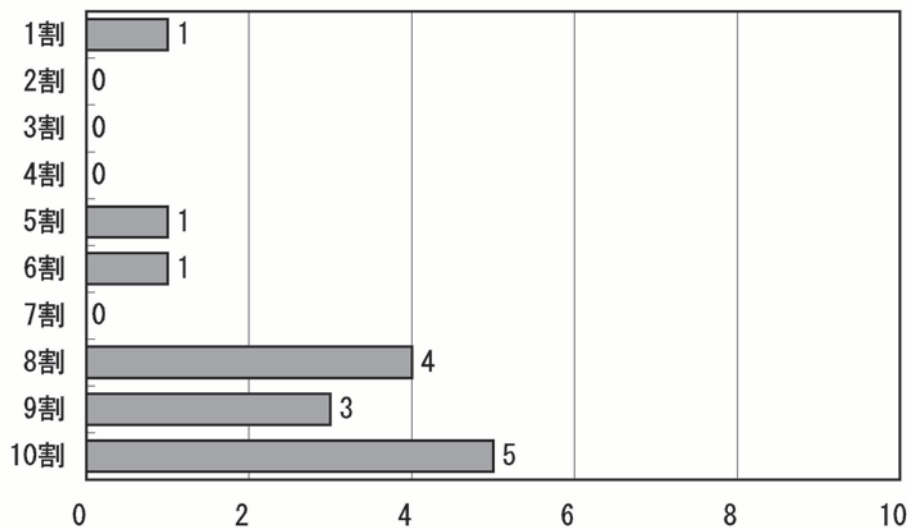


		減少した	変化なし	増加した	以前からない	不明
13-1	事故災害発生数は減少しましたか。	5	11	1	0	0
13-2	ヒヤリ・ハット件数は減少しましたか。	1	12	3	0	1
13-3	欠勤者数は減少しましたか。	3	9	0	2	3
13-4	疾病件数は減少しましたか。	2	9	0	2	4
13-5	社外(一般など)からの苦情件数は減少しましたか。	1	7	0	7	2
13-8	OSHMS過程での監査の指摘件数は減少しましたか。	5	6	4	0	1

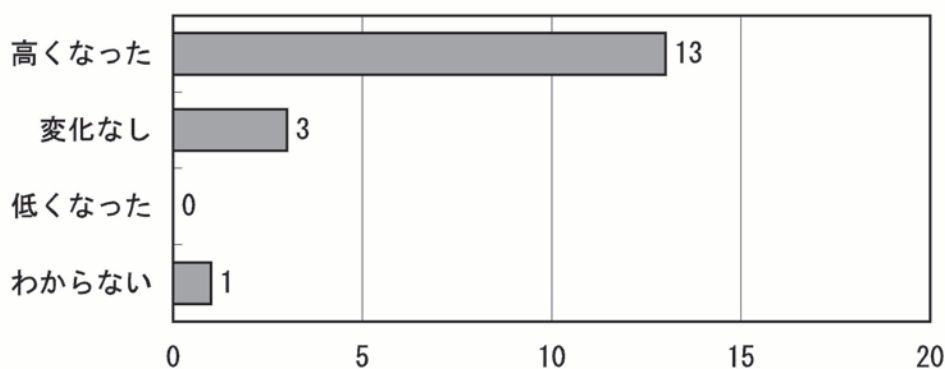


		ほぼ10割	8~9割	6~7割	5割未満	不明
13-6	目標としたモニタリング回数、教育・訓練回数(実施計画)は達成しましたか。	10	6	1	0	0

A50%以下



		1割	2割	3割	4割	5割	6割	7割	8割	9割	10割
13-7	最近1年間で完了したリスクアセスメントは計画件数のうち何割くらいですか。	1	0	0	0	1	1	0	4	3	5

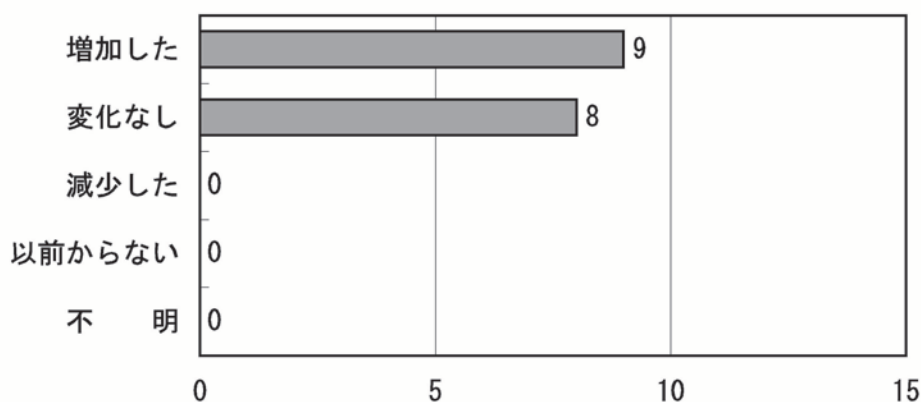


		高くなった	変化なし	低くなった	わからない
13-9	社員の関心は高まりましたか。	13	3	0	1

A50%以下

【マイナス面】

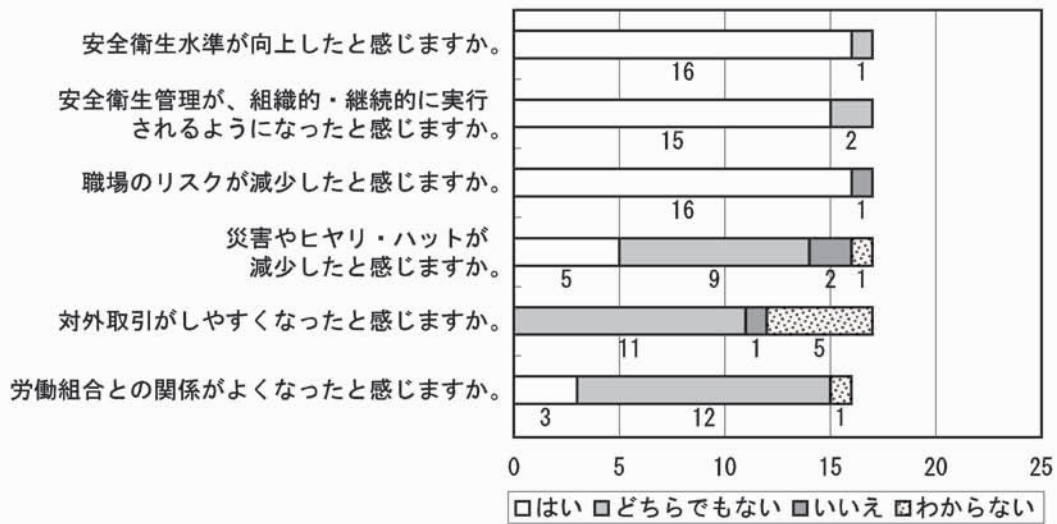
問14 OSHMSの実施によって一般業務への支障が増えましたか。



増加した	変化なし	減少した	以前からない	不明
9	8	0	0	0

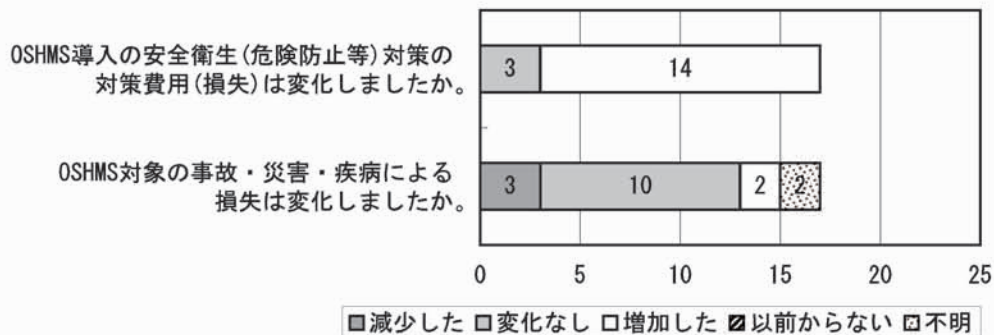
A50%以下
【成功感】

問15

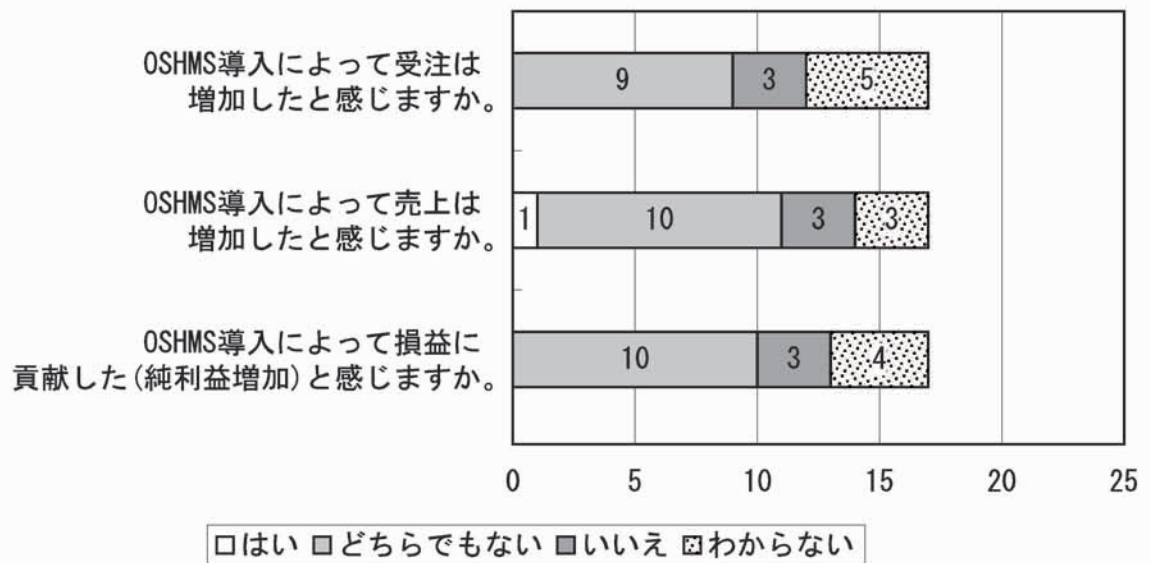


	はい	どちらでもない	いいえ	わからない
15-1 安全衛生水準が向上したと感じますか。	16	1	0	0
15-2 安全衛生管理が、組織的・継続的に実行されるようになったと感じますか。	15	2	0	0
15-3 職場のリスクが減少したと感じますか。	16	0	1	0
15-4 災害やヒヤリ・ハットが減少したと感じますか。	5	9	2	1
15-5 対外取引がしやすくなったと感じますか。	0	11	1	5
15-6 労働組合との関係がよくなったと感じますか。	3	12	0	1

A50%以下
【全体】
問16



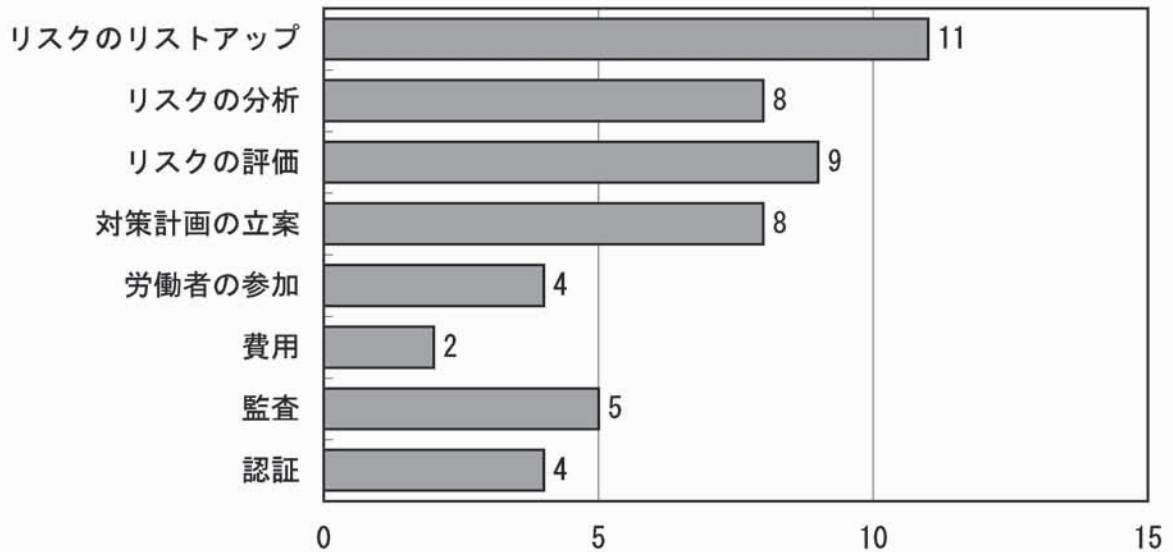
	減少した	変化なし	増加した	以前からない	不明
16-1 OSHMS導入の安全衛生(危険防止等)対策の対策費用(損失)は変化しましたか。	0	3	14	0	0
16-2 OSHMS対象の事故・災害・疾病による損失は変化しましたか。	3	10	2	0	2



	はい	どちらでもない	いいえ	わからない
16-3 OSHMS導入によって受注は増加したと感じますか。	0	9	3	5
16-4 OSHMS導入によって売上は増加したと感じますか。	1	10	3	3
16-5 OSHMS導入によって損益に貢献した(純利益増加)と感じますか。	0	10	3	4

A50%以下

問17 導入、維持で困難な作業はどれでしたか(どれですか)。



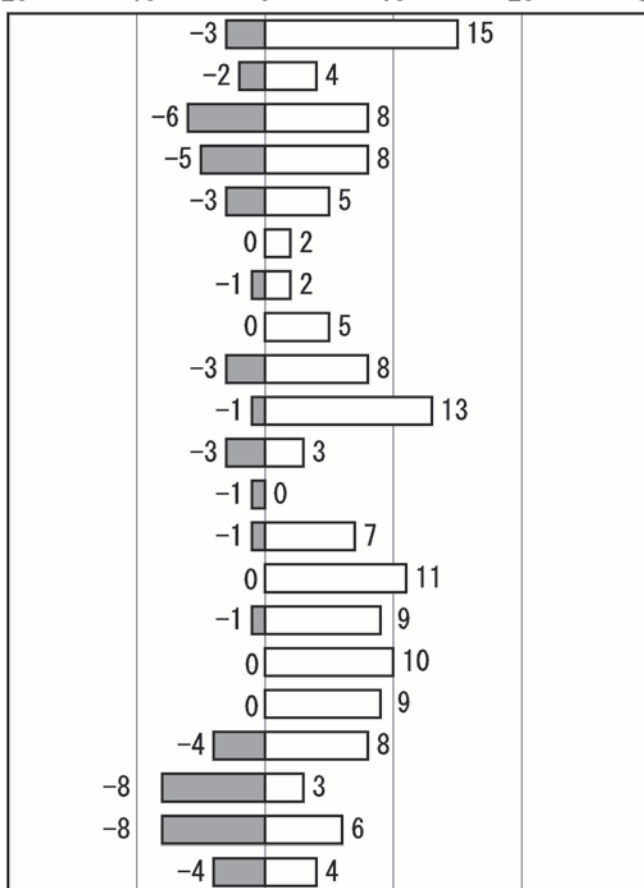
リスクのリストアップ	リスクの分析	リスクの評価	対策計画の立案	労働者の参加	費用	監査	認証
11	8	9	8	4	2	5	4

A50%以下

問18・19

← 困 難 できた →

-20 -10 0 10 20 30

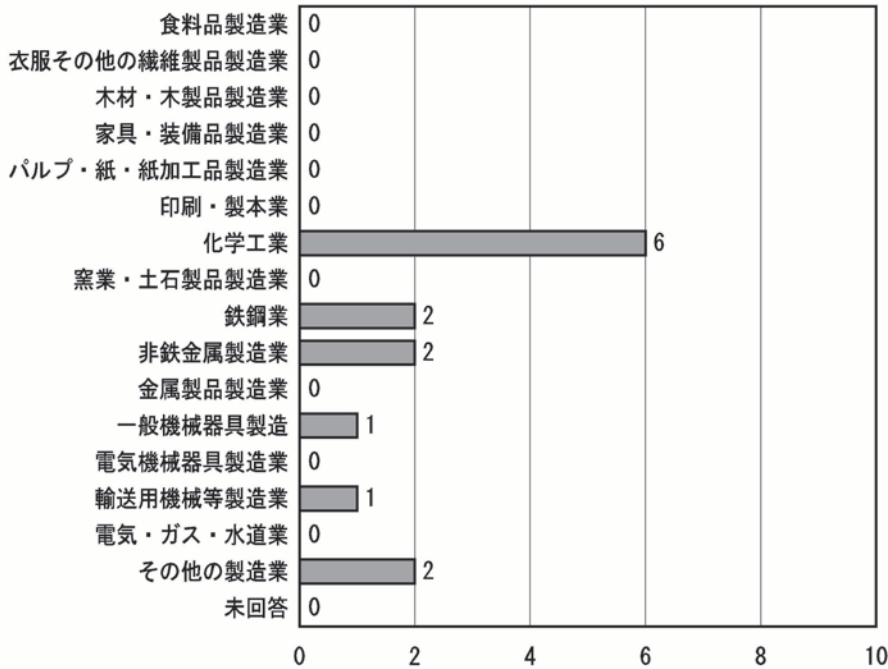


- a 機械・器具などの設備
- b 電気設備、建屋などの設備
- c 有害要因
- c1 化学物質、粉じん、酸素欠乏
- c2 騒音・振動
- c3 電離放射線、有害光線
- c4 温熱条件
- c5 その他の爆発性、発火性、引火性物質
- d 作業環境や、快適な職場環境
- e 作業、作業手順
- f 関係請負事業場に関すること
- g 交通災害や運搬業務
- h 安全衛生教育
- i 安全衛生活動
- i1 危険予知活動(KY)
- i2 4S活動(整理、整頓、清潔、清掃)
- i3 ヒヤリ・ハット報告活動
- j 緊急事態への対応(自然災害、火事)
- k 健康保持増進(生活習慣病対策)
- l 労働環境(過重労働、メンタルヘルス)
- m 喫煙対策

	問18 OSHMS実施で対策が奏効している分野はどれですか。	問19 OSHMS導入において、計画立案、対策が困難と感じる分野はどれですか。	
a	機械・器具などの設備	15	3
b	電気設備、建屋などの設備	4	2
c	有害要因	8	6
c1	化学物質、粉じん、酸素欠乏	8	5
c2	騒音・振動	5	3
c3	電離放射線、有害光線	2	0
c4	温熱条件	2	1
c5	その他の爆発性、発火性、引火性物質	5	0
d	作業環境や、快適な職場環境	8	3
e	作業、作業手順	13	1
f	関係請負事業場に関すること	3	3
g	交通災害や運搬業務	0	1
h	安全衛生教育	7	1
i	安全衛生活動	11	0
i1	危険予知活動(KY)	9	1
i2	4S活動(整理、整頓、清潔、清掃)	10	0
i3	ヒヤリ・ハット報告活動	9	0
j	緊急事態への対応(自然災害、火事)	8	4
k	健康保持増進(生活習慣病対策)	3	8
l	労働環境(過重労働、メンタルヘルス)	6	8
m	喫煙対策	4	4

A50%超

問1 貴事業場の業種はどれですか。

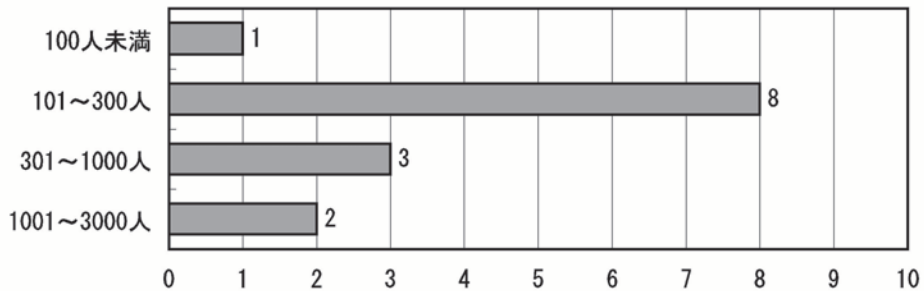


1	食料品製造業	0
2	衣服その他の繊維製品製造業	0
3	木材・木製品製造業	0
4	家具・装備品製造業	0
5	パルプ・紙・紙加工品製造業	0
6	印刷・製本業	0
7	化学工業	6
8	窯業・土石製品製造業	0
9	鉄鋼業	2
10	非鉄金属製造業	2
11	金属製品製造業	0
12	一般機械器具製造業	1
13	電気機械器具製造業	0
14	輸送用機械等製造業	1
15	電気・ガス・水道業	0
16	その他の製造業	2
17	未回答	0
計		14

A50%超

問2 貴事業場の労働者数は何人ですか(マネジメント認証を受けている場合はその単位でお答えください)。そのうち、交代勤務者の割合はどれくらいですか。

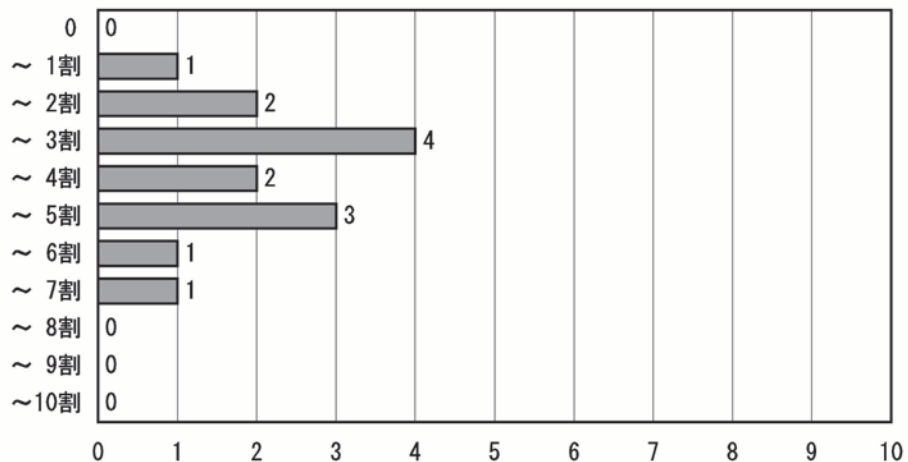
2-1 労働者数



2-1 労働者数

100人未満	101~300人	301~1000人	1001~3000人
1	8	3	2

2-2 交代勤務者

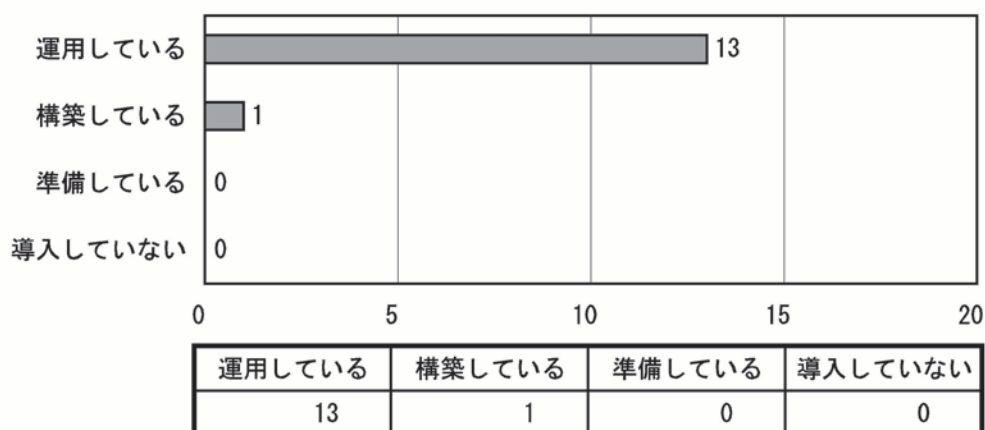


2-2 交代勤務者の割合

0	~ 1割	~ 2割	~ 3割	~ 4割	~ 5割	~ 6割	~ 7割	~ 8割	~ 9割	~ 10割
0	1	2	4	2	3	1	1	0	0	0

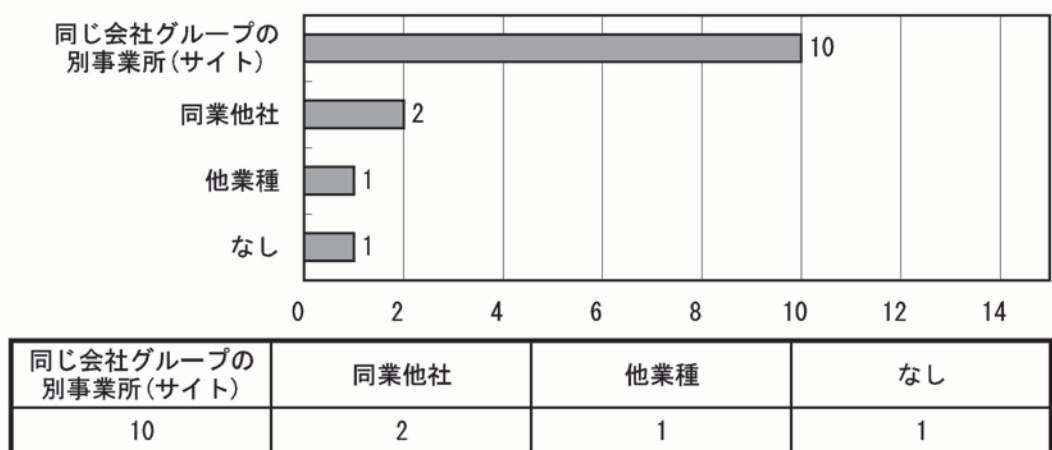
A50%超

問3 OSHMSを導入していますか。



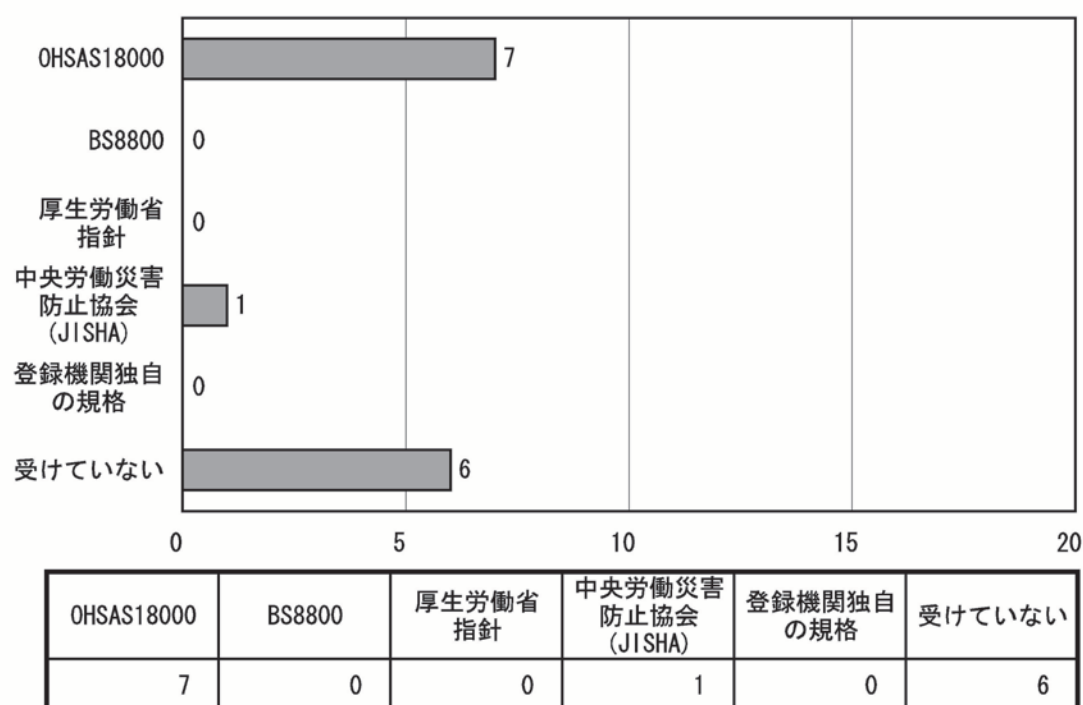
A50%超

問4 他事業場の取組みを参考にしましたか。もっとも参考にしたものをひとつ選んでください。



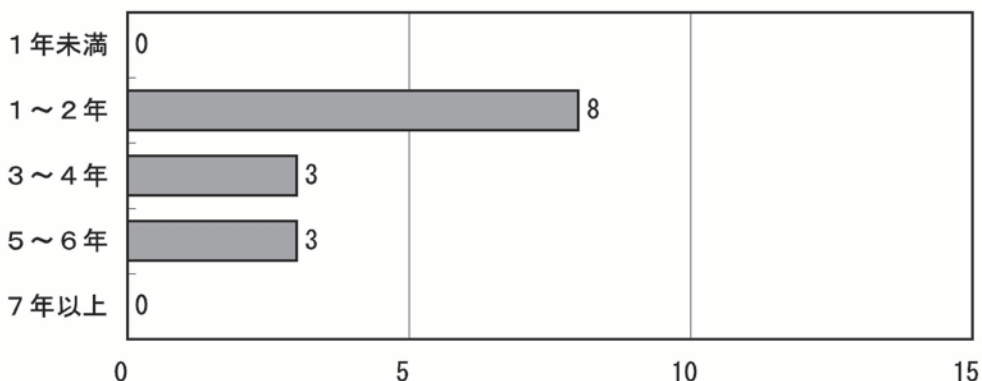
A50%超

問5 認証を受けていますか。



A50%超

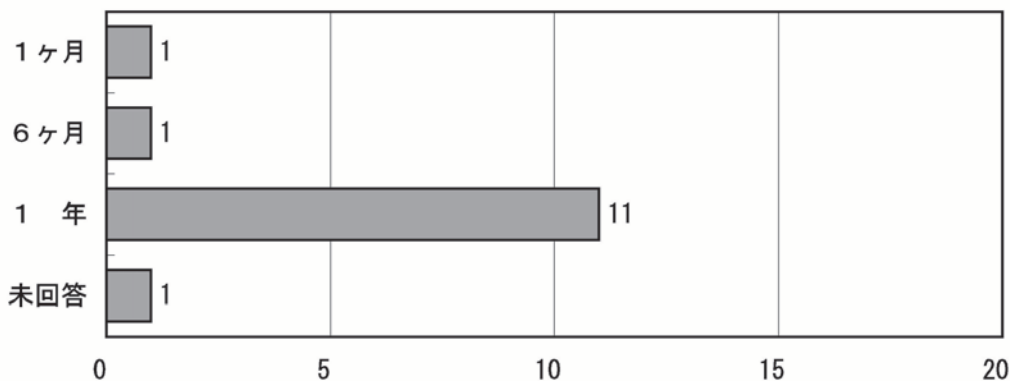
問6 導入してからどのくらい経過していますか。



1年未満	1~2年	3~4年	5~6年	7年以上
0	8	3	3	0

A50%超

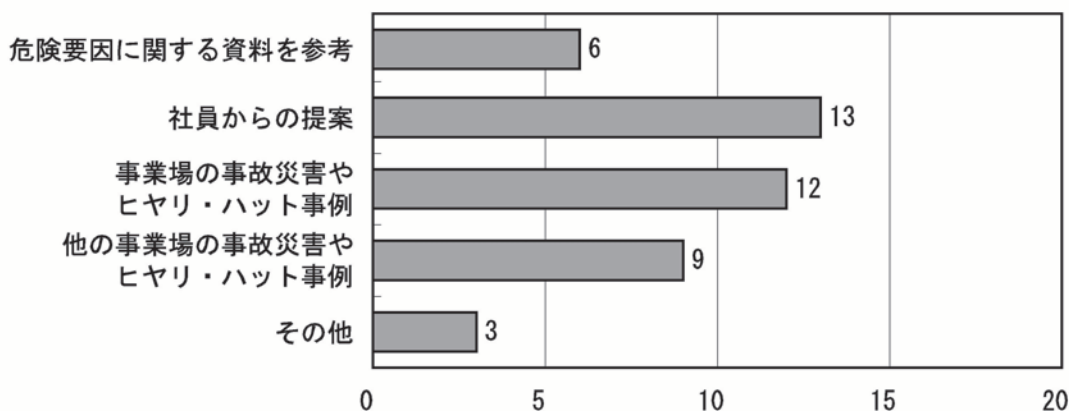
問7 計画の見直しはどのくらいの間隔で行っていますか。



1ヶ月	6ヶ月	1年	未回答
1	1	11	1

A50%超

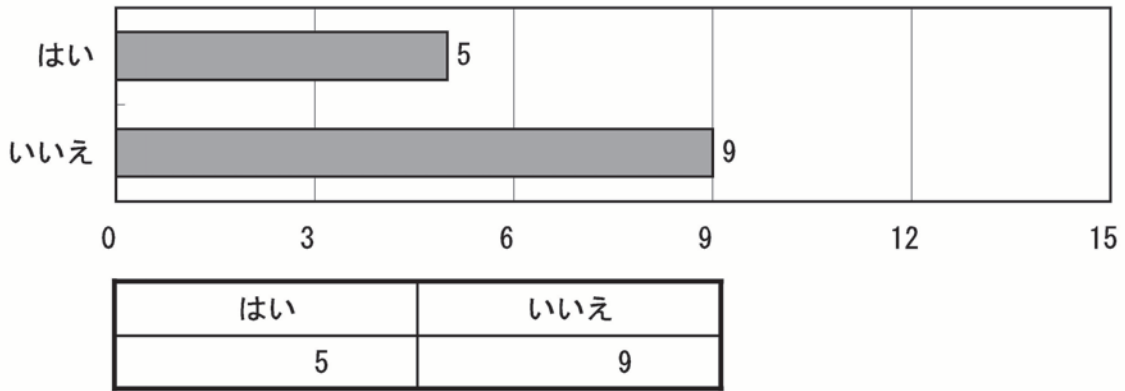
問8 危険源のリストアップはどのように行っていますか。



危険要因に関する資料を参考	社員からの提案	事業場の事故災害やヒヤリ・ハット事例	他の事業場の事故災害やヒヤリ・ハット事例	その他
6	13	12	9	3

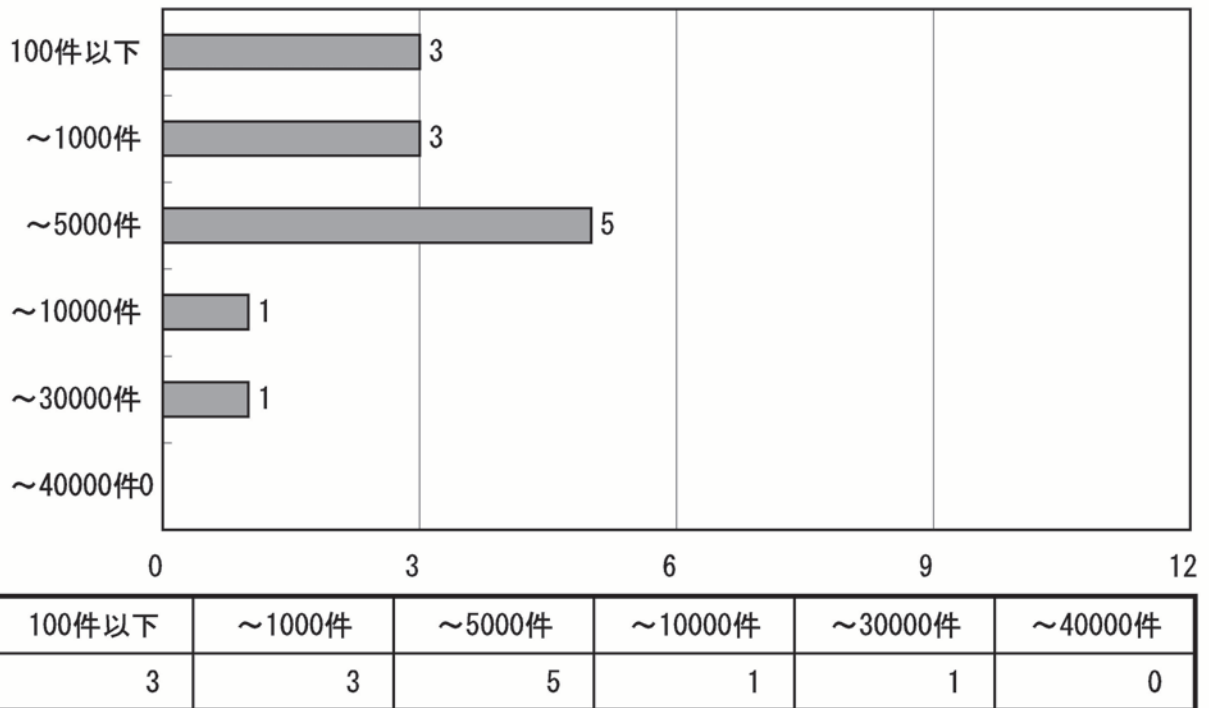
A50%超

問9 社員からのリスクの提案に報奨がありますか。



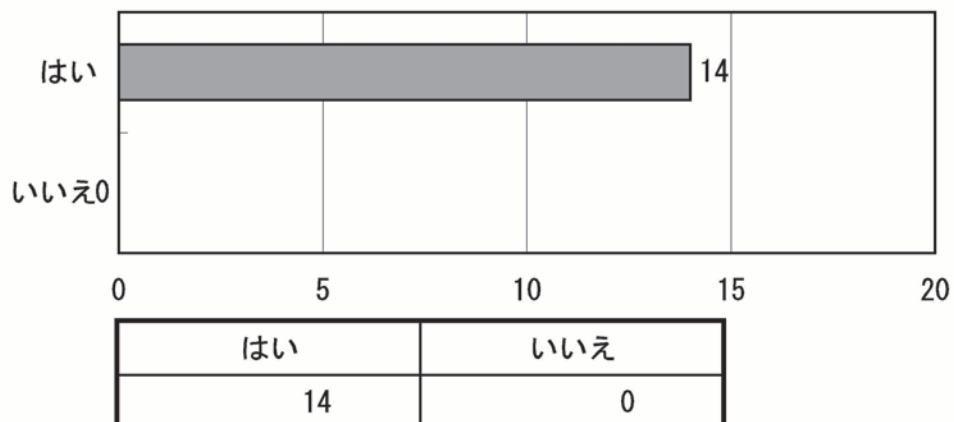
A50%超

問10 現在構築しているOSHMS (あるいは構築中)で、リスクのリストアップは何件ありましたか。(ありますか)。



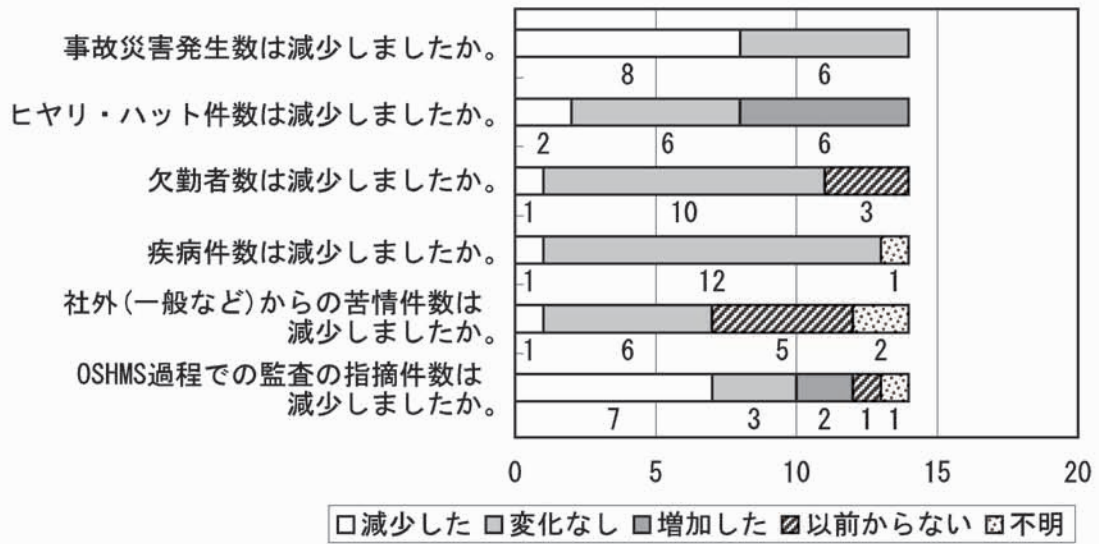
A50%超

問11 リスクの見積もりや評価の方法に基準がありますか。

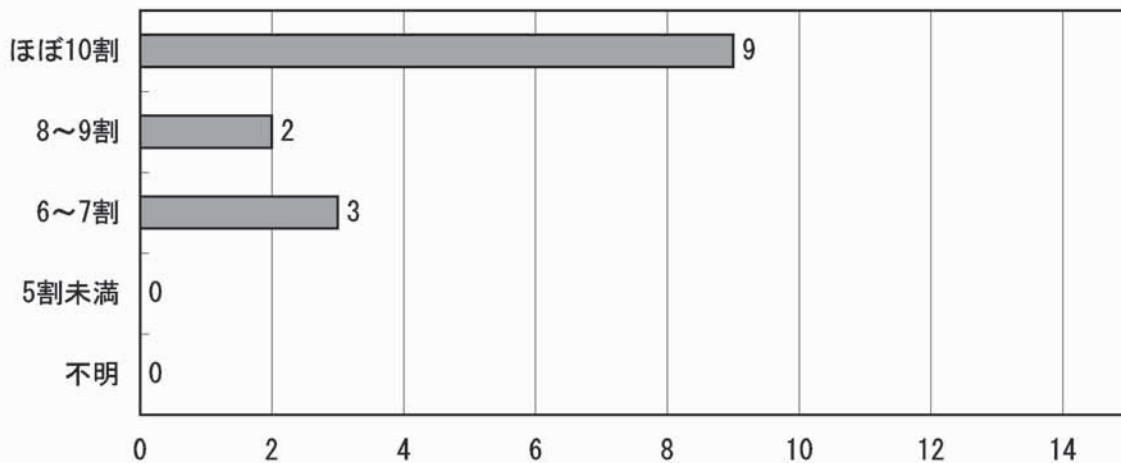


A50%超

問13 【プラス面】

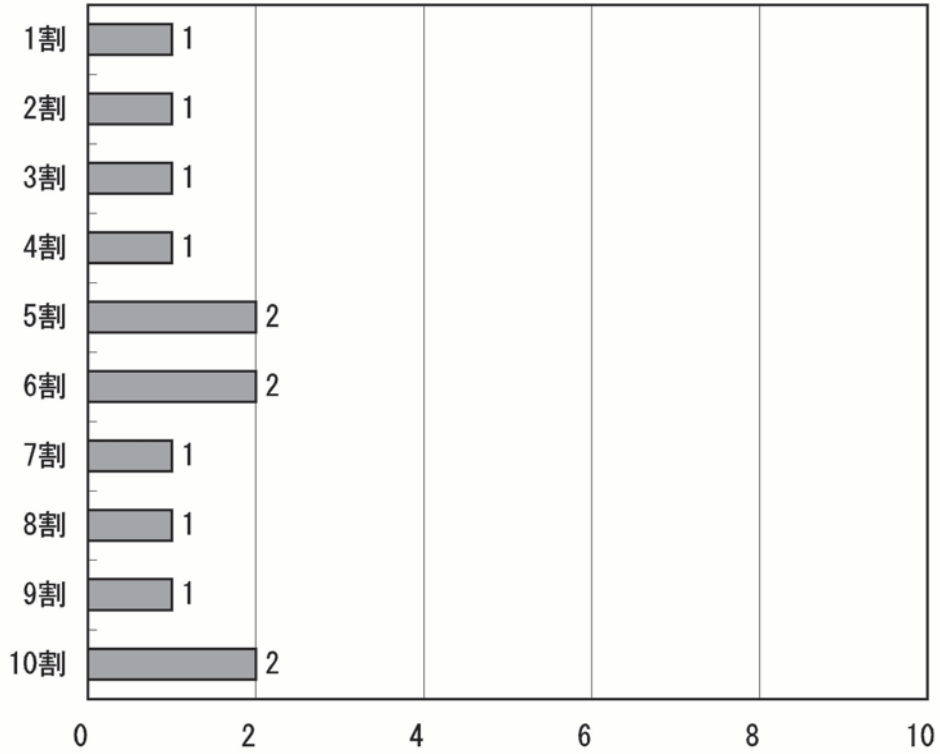


		減少した	変化なし	増加した	以前からない	不明
13-1	事故災害発生数は減少しましたか。	8	6	0	0	0
13-2	ヒヤリ・ハット件数は減少しましたか。	2	6	6	0	0
13-3	欠勤者数は減少しましたか。	1	10	0	3	0
13-4	疾病件数は減少しましたか。	1	12	0	0	1
13-5	社外(一般など)からの苦情件数は減少しましたか。	1	6	0	5	2
13-8	OSHMS過程での監査の指摘件数は減少しましたか。	7	3	2	1	1

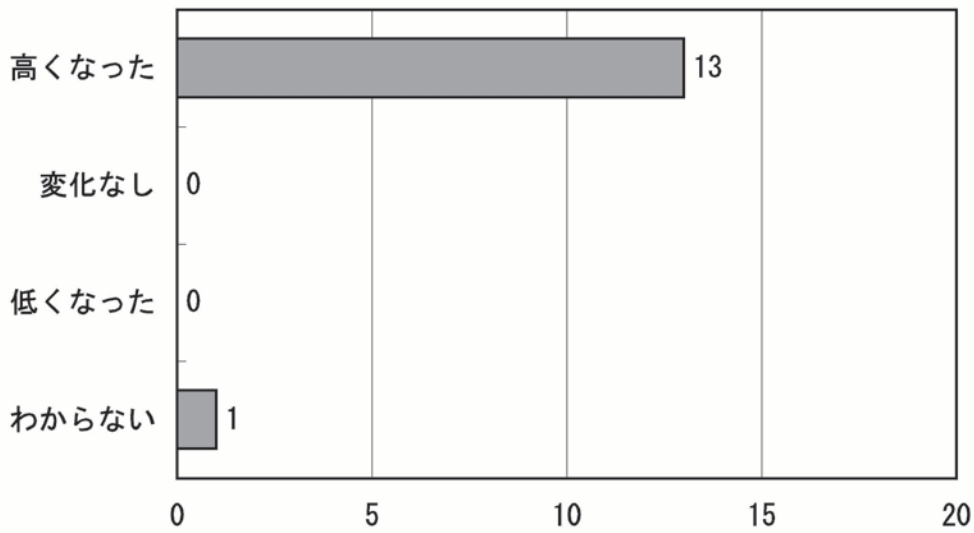


		ほぼ10割	8~9割	6~7割	5割未満	不明
13-6	目標としたモニタリング回数、教育・訓練回数(実施計画)は達成しましたか。	9	2	3	0	0

A50%超



		1割	2割	3割	4割	5割	6割	7割	8割	9割	10割
13-7	最近1年間で完了したリスクアセスメントは計画件数のうち何割くらいですか。	1	1	1	1	2	2	1	1	1	2

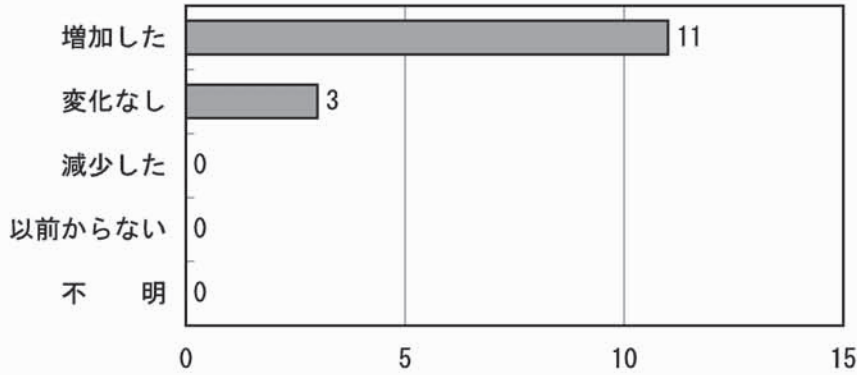


		高くなった	変化なし	低くなった	わからない
13-9	社員の関心は高まりましたか。	13	0	0	1

A50%超

【マイナス面】

問14 OSHMSの実施によって一般業務への支障が増えましたか。



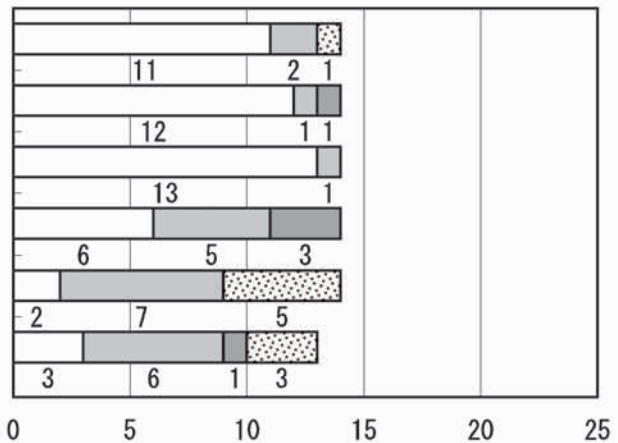
増加した	変化なし	減少した	以前からない	不明
11	3	0	0	0

A50%超

【成功感】

問15

- 安全衛生水準が向上したと感じますか。
- 安全衛生管理が、組織的・継続的に実行されるようになったと感じますか。
- 職場のリスクが減少したと感じますか。
- 災害やヒヤリ・ハットが減少したと感じますか。
- 対外取引がしやすくなったと感じますか。
- 労働組合との関係がよくなったと感じますか。



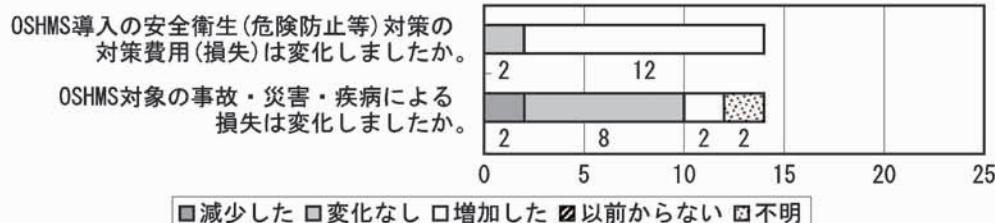
□はい □斜線どちらでもない □黒いいえ □点線わからない

	はい	どちらでもない	いいえ	わからない
15-1 安全衛生水準が向上したと感じますか。	11	2	0	1
15-2 安全衛生管理が、組織的・継続的に実行されるようになったと感じますか。	12	1	1	0
15-3 職場のリスクが減少したと感じますか。	13	1	0	0
15-4 災害やヒヤリ・ハットが減少したと感じますか。	6	5	3	0
15-5 対外取引がしやすくなったと感じますか。	2	7	0	5
15-6 労働組合との関係がよくなったと感じますか。	3	6	1	3

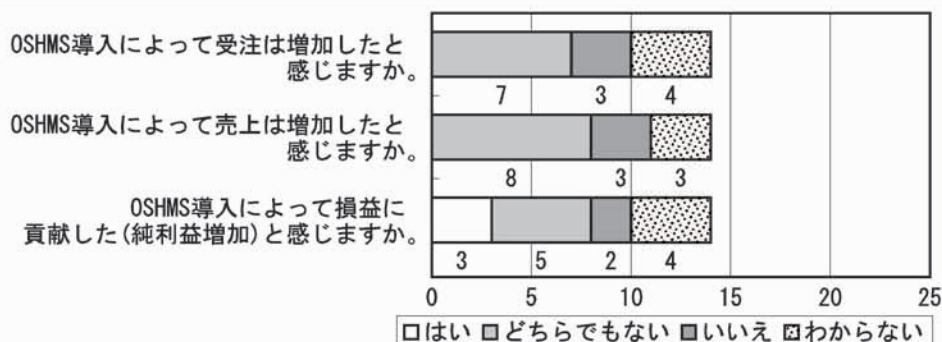
A50%超

【全 体】

問16



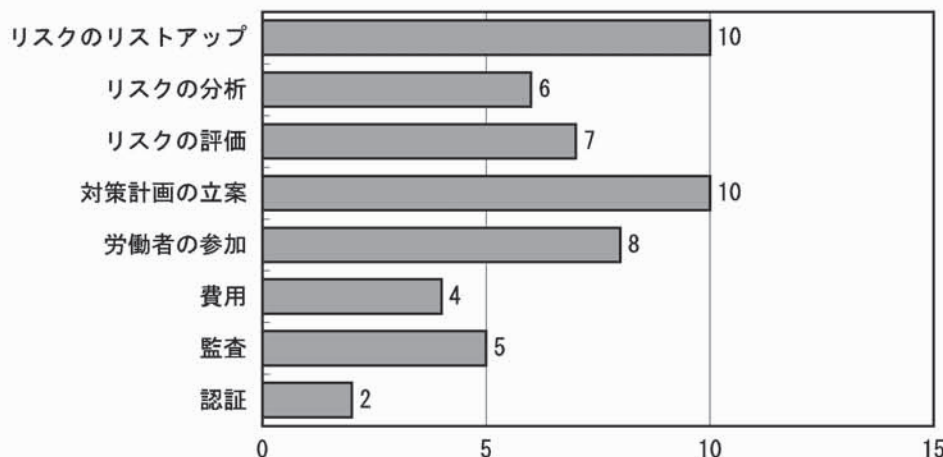
	減少した	変化なし	増加した	以前からない	不明
16-1 OSHMS導入の安全衛生(危険防止等)対策の対策費用(損失)は変化しましたか。	0	2	12	0	0
16-2 OSHMS対象の事故・災害・疾病による損失は変化しましたか。	2	8	2	0	2



	はい	どちらでもない	いいえ	わからない
16-3 OSHMS導入によって受注は増加したと感じますか。	0	7	3	4
16-4 OSHMS導入によって売上は増加したと感じますか。	0	8	3	3
16-5 OSHMS導入によって損益に貢献した(純利益増加)と感じますか。	3	5	2	4

A50%超

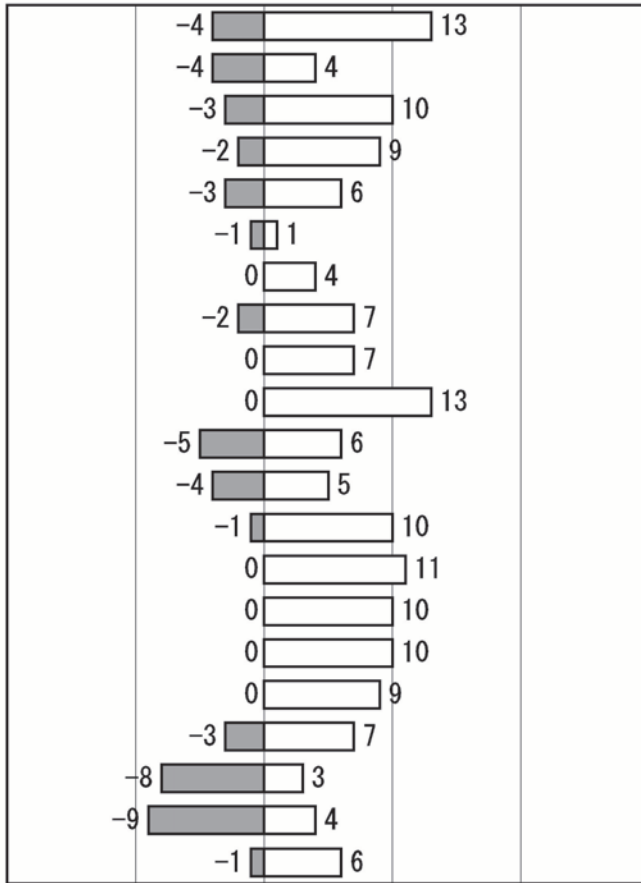
問17 導入、維持で困難な作業はどれでしたか(どれですか)。



リスクのリストアップ	リスクの分析	リスクの評価	対策計画の立案	労働者の参加	費用	監査	認証
10	6	7	10	8	4	5	2

A50%超
問18・19

← 困 難 できた →
-20 -10 0 10 20 30

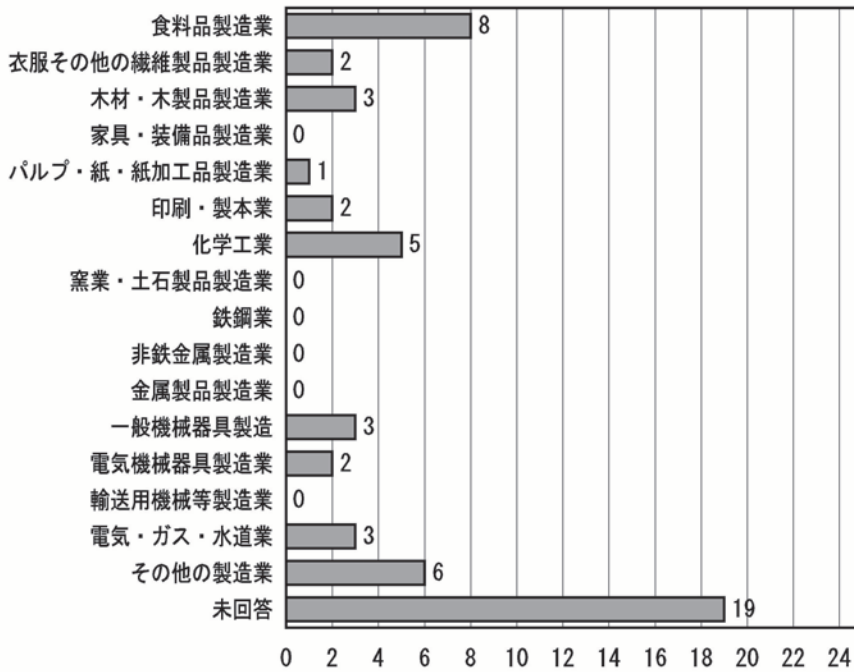


- a 機械・器具などの設備
- b 電気設備、建屋などの設備
- c 有害要因
- c1 化学物質、粉じん、酸素欠乏
- c2 騒音・振動
- c3 電離放射線、有害光線
- c4 温熱条件
- c5 その他の爆発性、発火性、引火性物質
- d 作業環境や、快適な職場環境
- e 作業、作業手順
- f 関係請負事業場に関すること
- g 交通災害や運搬業務
- h 安全衛生教育
- i 安全衛生活動
- i1 危険予知活動(KY)
- i2 4S活動(整理、整頓、清潔、清掃)
- i3 ヒヤリ・ハット報告活動
- j 緊急事態への対応(自然災害、火事)
- k 健康保持増進(生活習慣病対策)
- l 労働環境(過重労働、メンタルヘルス)
- m 喫煙対策

	問18 OSHMS実施で対策が奏効している分野はどれですか。	問19 OSHMS導入において、計画立案、対策が困難と感じる分野はどれですか。	
a	機械・器具などの設備	13	4
b	電気設備、建屋などの設備	4	4
c	有害要因	10	3
c1	化学物質、粉じん、酸素欠乏	9	2
c2	騒音・振動	6	3
c3	電離放射線、有害光線	1	1
c4	温熱条件	4	0
c5	その他の爆発性、発火性、引火性物質	7	2
d	作業環境や、快適な職場環境	7	0
e	作業、作業手順	13	0
f	関係請負事業場に関すること	6	5
g	交通災害や運搬業務	5	4
h	安全衛生教育	10	1
i	安全衛生活動	11	0
i1	危険予知活動(KY)	10	0
i2	4S活動 (整理、整頓、清潔、清掃)	10	0
i3	ヒヤリ・ハット報告活動	9	0
j	緊急事態への対応 (自然災害、火事)	7	3
k	健康保持増進(生活習慣病対策)	3	8
l	労働環境 (過重労働、メンタルヘルス)	4	9
m	喫煙対策	6	1

B

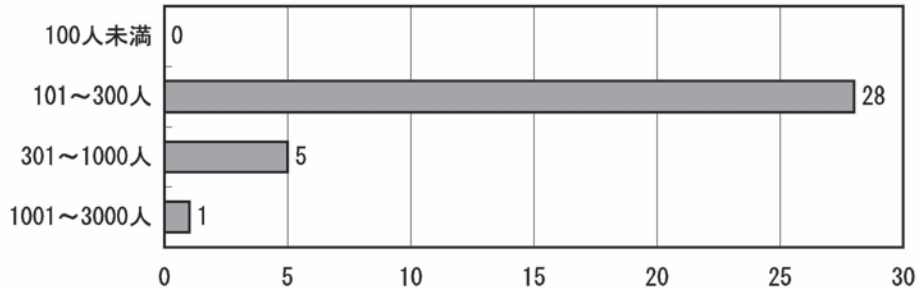
問1 貴事業場の業種はどれですか。



1	食料品製造業	8
2	衣服その他の繊維製品製造業	2
3	木材・木製品製造業	3
4	家具・装備品製造業	0
5	パルプ・紙・紙加工品製造業	1
6	印刷・製本業	2
7	化学工業	5
8	窯業・土石製品製造業	0
9	鉄鋼業	0
10	非鉄金属製造業	0
11	金属製品製造業	0
12	一般機械器具製造	3
13	電気機械器具製造業	2
14	輸送用機械等製造業	0
15	電気・ガス・水道業	3
16	その他の製造業	6
17	未回答	19
計		54

問2 貴事業場の労働者数は何人ですか(マネジメント認証を受けている場合はその単位でお答えください)。そのうち、交代勤務者の割合はどれくらいですか。

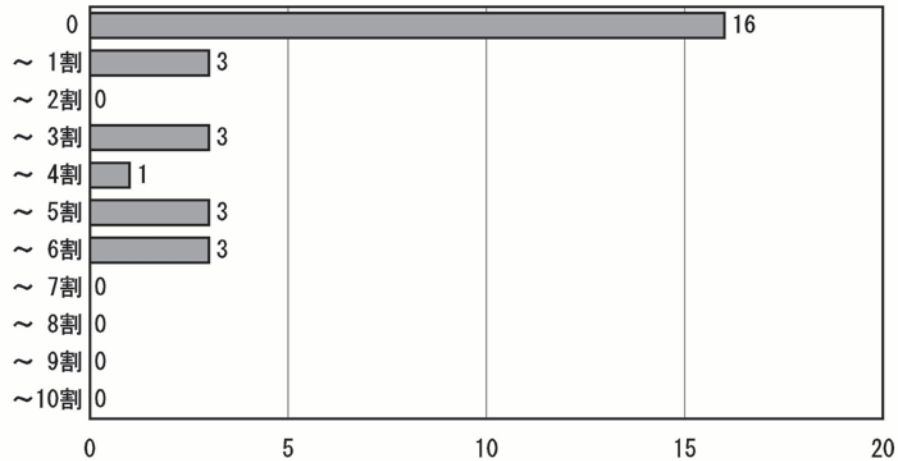
2-1 労働者数



2-1 労働者数

労働者数	100人未満	101~300人	301~1000人	1001~3000人
数	0	28	5	1

2-2 交代勤務者



2-2 交代勤務者の割合

交代勤務者の割合	0	~ 1割	~ 2割	~ 3割	~ 4割	~ 5割	~ 6割	~ 7割	~ 8割	~ 9割	~ 10割
数	16	3	0	3	1	3	3	0	0	0	0

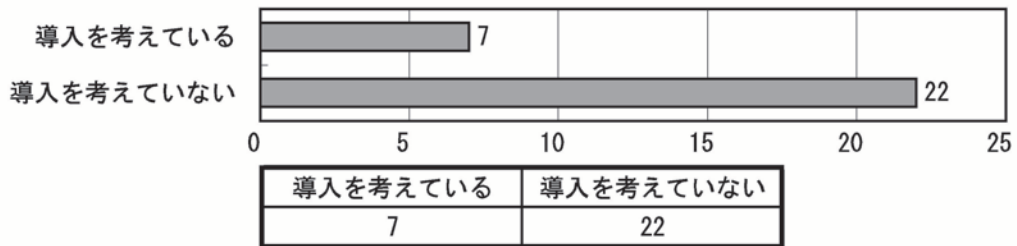
B

問3 OSHMSを導入していますか。



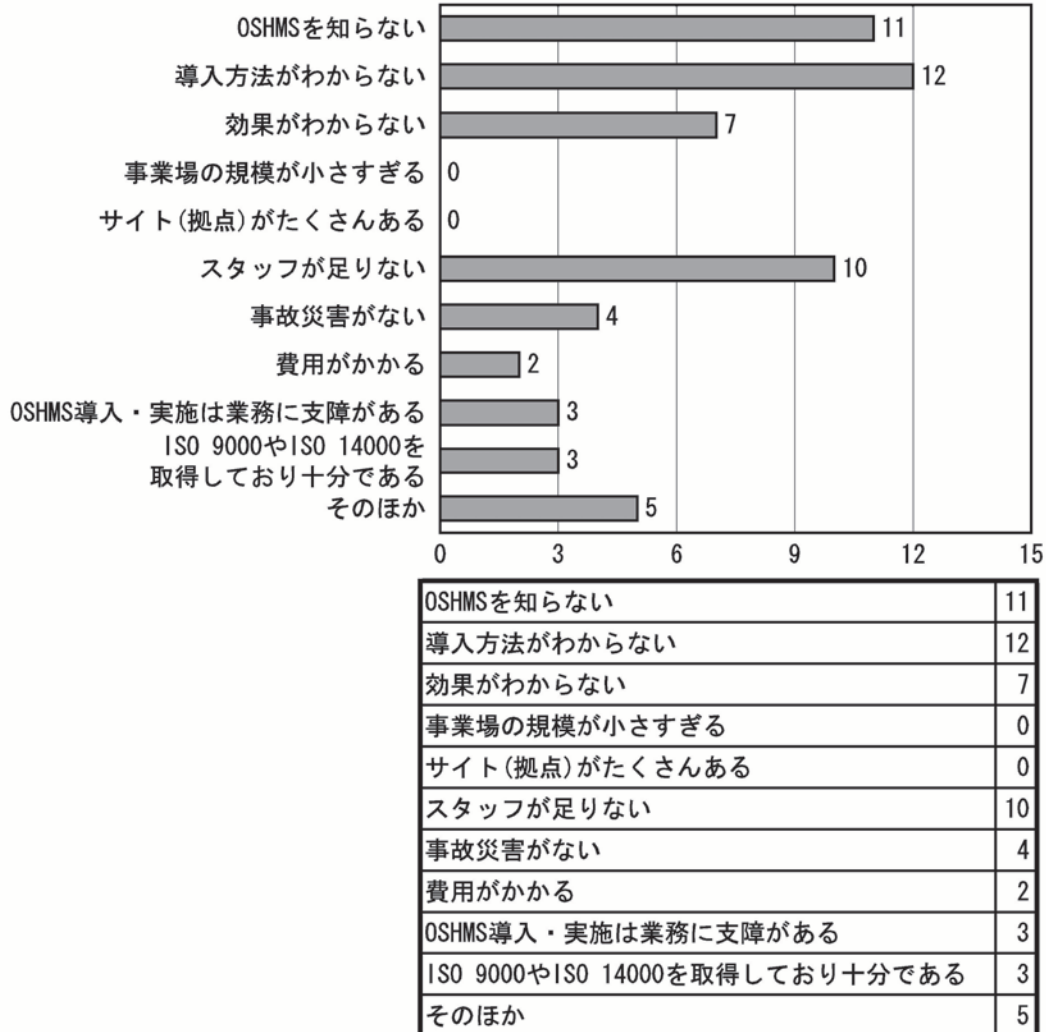
B

問4 OSHMSの導入についてどのような状況ですか。



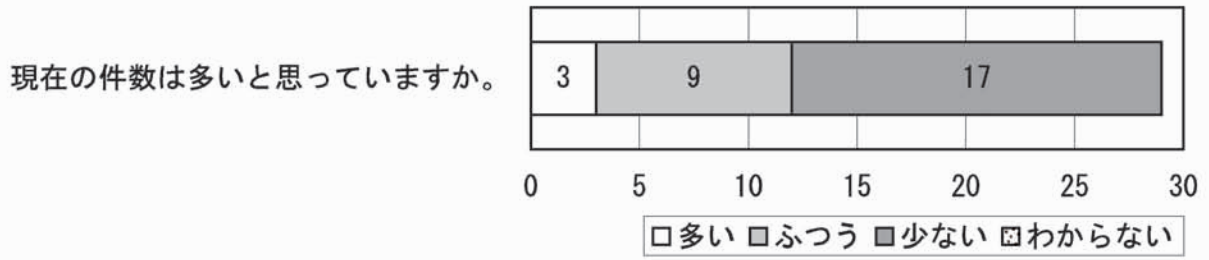
B

問5 OSHMSを導入していない(あるいは困難な)理由はどれですか。

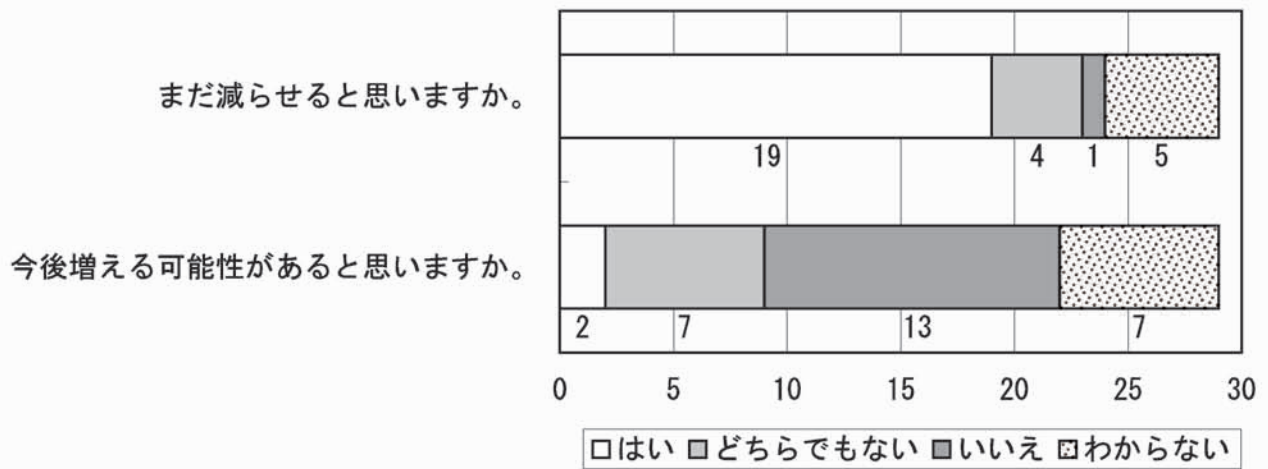


B

問6 現在、貴事業場での事故災害の状況をお答えください。



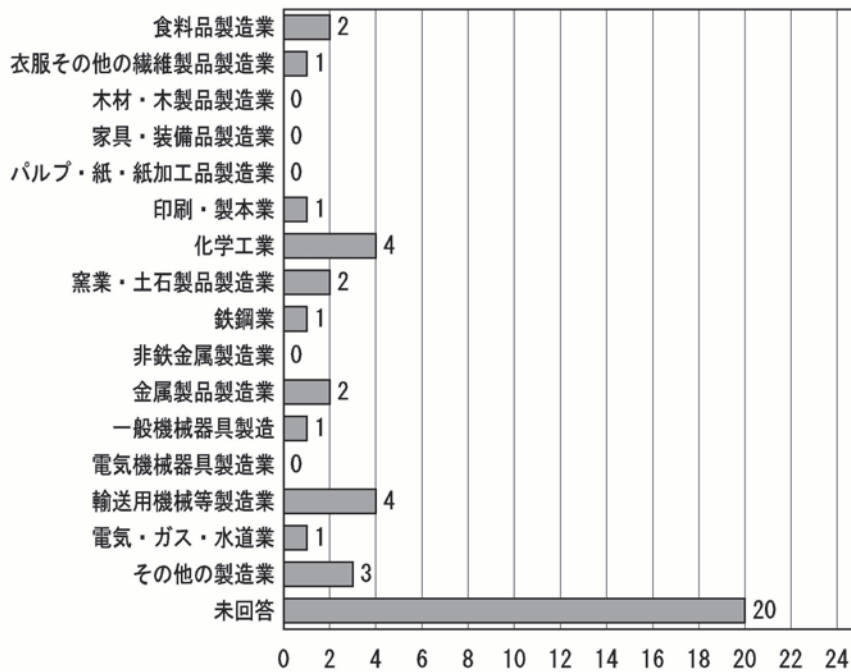
	多い	ふつう	少ない	わからない
6-1 現在の件数は多いと思っていますか。	3	9	17	0



	はい	どちらでもない	いいえ	わからない
6-2 まだ減らせるとお思いますか。	19	4	1	5
6-3 今後増える可能性があるとお思いますか。	2	7	13	7

C

問1 貴事業場の業種はどれですか。

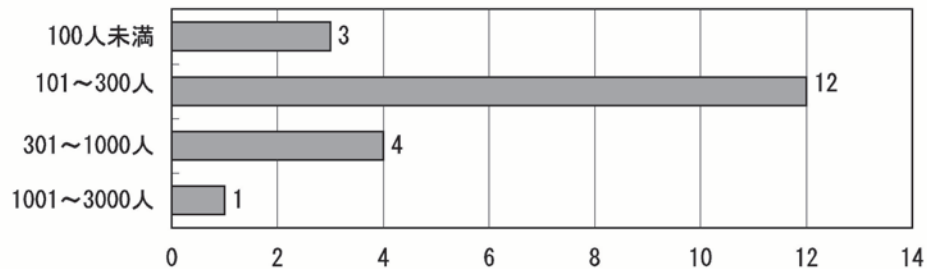


1	食料品製造業	2
2	衣服その他の繊維製品製造業	1
3	木材・木製品製造業	0
4	家具・装備品製造業	0
5	パルプ・紙・紙加工品製造業	0
6	印刷・製本業	1
7	化学工業	4
8	窯業・土石製品製造業	2
9	鉄鋼業	1
10	非鉄金属製造業	0
11	金属製品製造業	2
12	一般機械器具製造業	1
13	電気機械器具製造業	0
14	輸送用機械等製造業	4
15	電気・ガス・水道業	1
16	その他の製造業	3
17	未回答	20
計		42

C

問2 貴事業場の労働者数は何人ですか(マネジメント認証を受けている場合はその単位でお答えください)。そのうち、交代勤務者の割合はどれくらいですか。

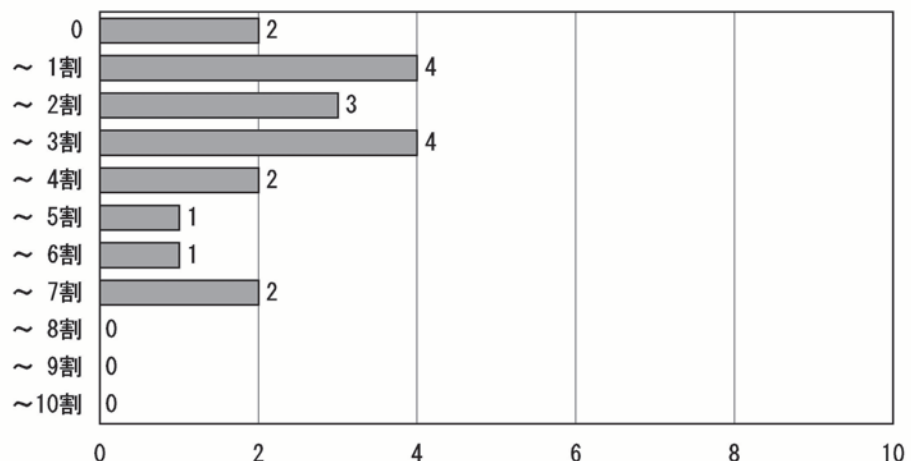
2-1 労働者数



2-1 労働者数

100人未満	101~300人	301~1000人	1001~3000人
3	12	4	1

2-2 交代勤務者

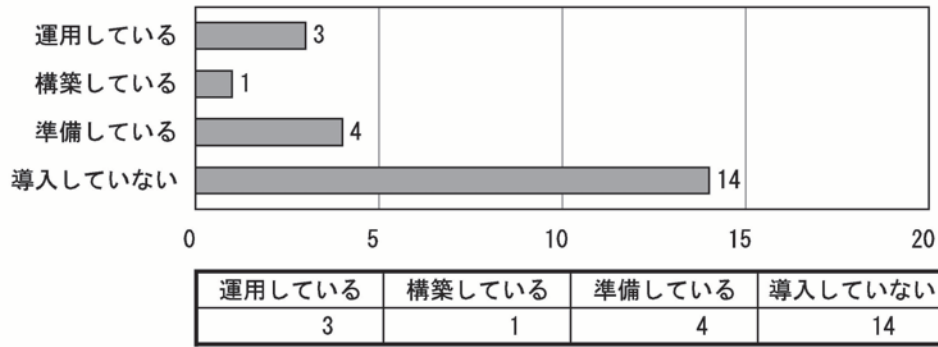


2-2 交代勤務者の割合

0	~ 1割	~ 2割	~ 3割	~ 4割	~ 5割	~ 6割	~ 7割	~ 8割	~ 9割	~ 10割
2	4	3	4	2	1	1	2	0	0	0

C

問3 OSHMSを導入していますか。



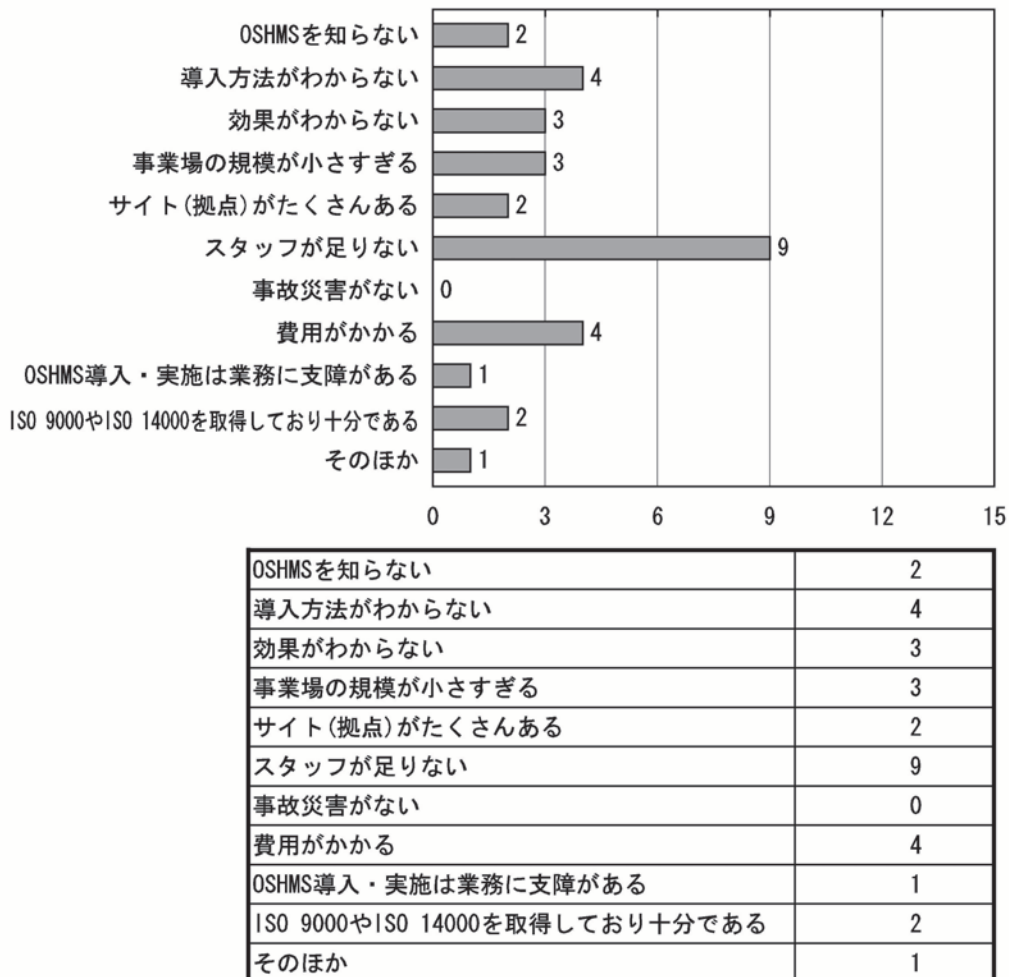
C

問4 OSHMSの導入についてどのような状況ですか。



C

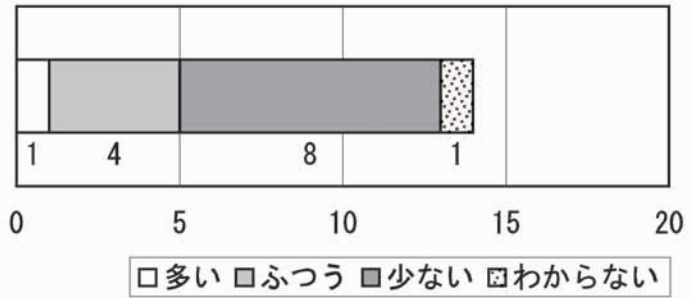
問5 OSHMSを導入していない(あるいは困難な)理由はどれですか。



C

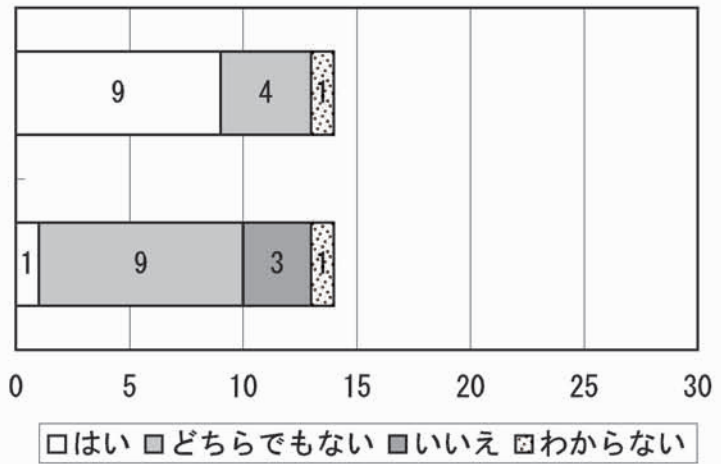
問6 現在、貴事業場での事故災害の状況をお答えください。

現在の件数は多いと思っていますか。



	多い	ふつう	少ない	わからない
6-1 現在の件数は多いと思っていますか。	1	4	8	1

まだ減らせるとお思いますか。



今後増える可能性があるとお思いますか。



	はい	どちらでもない	いいえ	わからない
6-2 まだ減らせるとお思いますか。	9	4	0	1
6-3 今後増える可能性があるとお思いますか。	1	9	3	1

平成19年度調査研究
「労働安全衛生マネジメントシステムに関する調査」
に係る事業場訪問調査

調査事業場	化学工業
聴き取り事項	
導入年月日ほか	導入して、2年が経過している。全社をあげて、グループ全体で認証を受けるように取り組んでいる。
導入の効果	① 「安全」ということに意識が高まった。事故災害の減少などの結果を求めるのは早い。 ② サーベイランスを重ねて、レベルアップしている。
効果を上げるための工夫等	① 全員参加を基本とし、リスクのリストアップは部署ごとにまとめて提出する。網羅性を確保するために作業手順書を確認しながら行う。 ② 対策は職場ごとに検討する。
今なお、困っている点、課題等	① 安全衛生が主体と鳴っており、健康面は健康管理センターなどが別別体系で対策を行っている。 ② 内部監査前、あるいはサーベイランス前に駆け込みでリストアップを行っている職場もあり、必ずしも自発的とはいええない部分もある。
そのほか	システムは構築できたが、その仕組みをきちんと機能させるためにはもう少し時間がかかりそうである。OSHMS導入率を上げるためにそのメリットの説明だけでは不十分で、最小限の効果が担保されるとよい。

調査事業場	非鉄金属製造業
聴き取り事項	
導入年月日ほか	平成16年に準備を始め、平成17年に1月（3年前）にOHSASの認証を受けた。それまでに品質、環境に関する認証（ISO）を取得した経験が役にたった。
導入の効果	① 事故災害件数が減った（質問調査時点）。 ② 安全衛生体制はよくなったし、工場内の整理整頓など、見た目もよくなった。 ③ 社員の認識がよくなった。
効果を上げるための工夫等	① 協力会社の責任者にも積極的に参加してもらっており、安全教育も徹底している。 ② リストアップの後、話し合いをし、個別に取り組む。
今なお、困っている点、課題等	① 効果のある対策を行うには人の行動までを把握し管理しないとけないが、人事、労務に関わる部分もありOSHMSだけでは取り組みがたい。 ② メンタルヘルスは個人情報にかかわり、健康管理部門が取り扱うためOSHMSには取り入れていない。
そのほか	認証取得には法律や基準に精通する必要がある、ルールやスケジュールや手順書を作るのに臨時でもその業務に携われる人が必要である。

調査事業場	鉄鋼業
聴き取り事項	
導入年月日ほか	OSHMSの導入が開始されたのは、会社本体としては平成15年10月1日からであるが、分社化後の当事業場として導入を始めたのは平成16年1月からである。
導入の効果	以下の点でシステムの構築、横の連携が図られるようになった。 ① リスクを体系的につぶして(減らして)いくことができるようになったこと。 ② トップダウンによる類似災害の防止対策の徹底が図られるようになったこと。 ③ 対策のフォローが確実にできるようになったこと。
効果を上げるための工夫等	① 規定文書、マニュアルの整備 ② それらを機能させるための教育の実施と教育を行う者(管理者)の特定化 ③ 活動の見える化・見せる化、レビュー化
今なお、困っている点、課題等	① 2007年問題つまり世代交代に伴う社員への教育、特に危険感性の引き上げを含めた教育の問題 ② 従業員の入れ替わりの激しい協力会社(2~3次)に対する安全衛生管理

調査事業場	電気機械器具製造業
聴き取り事項	
導入年月日ほか	OSHMS導入のための準備を開始したのが今から3年位前で、リスクアセスメントの導入、規定類の整備から実施していった。
導入の効果	総じて安全衛生水準の向上が図られた。具体的には以下のとおりである。 ① 安全衛生意識の向上により、トップダウンとボトムアップを結びつけることができるようになったこと。(トップの意向を如何に下に伝えるかということと下の意見を如何に吸い上げるかということ) ② リスクアセスメントによるリスクの低減が図られたこと。 ③ もともと災害が少ないので数字上の効果は表れていないが、重大災害は防止できるという感触がつかめたこと。 具体的に言うと、リスクについてすぐに上げる(回答する)ことができるようになったことや2S(整理・整頓)が徹底されるようになったことである。
効果を上げるための工夫等	① 評価の様式を工夫し、評価しすいようにしたこと。 ② 各作業場をビデオに収録し、ビデオによる事例検討を行ったこと。 ③ 2S活動が品質アップ(異物の混入がなくなる)につながるため、品質面でのリスクアセスメントも併せて展開してきたこと。 ④ グループ会社からのOSHMSに関する情報提供があったこと。 ⑤ 関係法令をまとめるのに苦労した。
今なお、困っている点、課題等	特にない。

調査事業場	非鉄金属製造業
聴き取り事項	
導入年月日ほか	平成10年からリスクアセスメントの取組を開始したが、依然災害が多かったことから、OSHMSに着目し、この手法を導入した方が良いのではということになった。さらに、きちんとしたマネジメントシステムとして整備していかなければならないということで、親会社から全社的な指示があり、平成18年1月から準備を始め、同年4月から本格的に導入した。
導入の効果	システムとして生きていくのはこれからだと思うが、次の点で効果があった。 ① 継続的な取組が促進されたこと。 ② トップの導入指示により従業員の意識が高まったこと。
効果を上げるための工夫等	① 法令順守に関して、現場の者は意外に法令を知らないということがわかり、そこに留意したこと。 ② TPM活動を平成12年から開始したが、その活動が追風になったこと。
今なお、困っている点、課題等	① メンタルヘルス体制の確立など労働衛生面への取組の仕方 ② 規定類が複雑すぎて、運用しにくいこと。

労働安全衛生マネジメントシステムに関する
調査票

質問4 他事業場の取組みを参考にしましたか。もっとも参考にしたものをひとつ選んでください。

- 1 同じ会社グループの別事業所（サイト） 2 同業他社
3 他業種 4 なし

4

質問5 認証を受けていますか。

- 1 OHSAS 18000 2 BS8800 3 厚生労働省指針
4 中央労働災害防止協会（JISHA） 5 登録機関独自の規格
6 受けていない

5

質問6 導入してからどのくらい経過していますか。

6

年（およそ）

質問7 計画の見直しはどのくらいの間隔で行っていますか。

7-1

7-2

年

月 間隔

質問8 危険源のリストアップはどのように行っていますか。チェック（レ点）してください（複数可）。

- a 危険要因に関する資料を参考にしてチェック（JISB9702、EC指令、BS8800など）
b 社員からの提案
c 事業場内の事故災害やヒヤリ・ハット事例
d 他の事業場の事故災害やヒヤリ・ハット事例
e その他

質問9 社員からのリスクの提案に報奨がありますか。

- 1 はい 2 いいえ

9

質問10 現在構築しているOSHMS（あるいは構築中）で、リスクのリストアップは何件ありましたか（ありますか）。

10

件

質問11 リスクの見積もりや評価の方法に基準がありますか。

- 1 はい 2 いいえ

11

質問12 全スタッフのうち何割の人が、リスクの評価や対策の検討に参加していますか。

12

割

導入して（あるいは導入の準備までに）どのような効果がありましたか。それ以前と比較してください。

【プラス面】

質問13-1 事故災害発生数は減少しましたか。

- 1 減少した 2 変化なし 3 増加した 4 以前からない 5 不明

13-1

質問13-2 ヒヤリ・ハット件数は減少しましたか。

- 1 減少した 2 変化なし 3 増加した 4 以前からない 5 不明

13-2

質問13-3 欠勤者数は減少しましたか。

- 1 減少した 2 変化なし 3 増加した 4 以前からない 5 不明

13-1

質問13-4 疾病件数は減少しましたか。

- 1 減少した 2 変化なし 3 増加した 4 以前からない 5 不明

13-1

質問13-5 社外（一般など）からの苦情件数は減少しましたか。

- 1 減少した 2 変化なし 3 増加した 4 以前からない 5 不明

13-1

質問13-6 目標としたモニタリング回数、教育・訓練回数（実施計画）は達成しましたか。

- 1 ほぼ十割 2 八～九割 3 六～七割 4 五割未満 5 不明

13-1

質問13-7 最近1年間で完了したリスクアセスメントは計画件数のうち何割くらいですか。

13-7

質問13-8 OSHMS過程での監査の指摘件数は減少しましたか。

- 1 減少した 2 変化なし 3 増加した 4 以前からない 5 不明

割

13-8

質問13-9 社員の関心は高まりましたか。

- 1 高くなった 2 変化なし 3 低くなった 4 わからない

13-9

【マイナス面】

質問14 OSHMSの実施によって一般業務への支障が増えましたか。

- 1 増加した 2 変化なし 3 減少した 4 以前からない 5 不明

14

【成功感】

質問15-1 安全衛生水準が向上したと感じますか。どれかひとつ選んでください。

- 1 はい 2 どちらでもない 3 いいえ 4 わからない

15-1

質問15-2 安全衛生管理が、組織的・継続的に実行されるようになったと感じますか。

- 1 はい 2 どちらでもない 3 いいえ 4 わからない

15-2

質問15-3 職場のリスクが減少したと感じますか。

- 1 はい 2 どちらでもない 3 いいえ 4 わからない

15-3

質問15-4 災害やヒヤリ・ハットが減少したと感じますか。

- 1 はい 2 どちらでもない 3 いいえ 4 わからない

15-4

質問15-5 対外取引がしやすくなったと感じますか。

- 1 はい 2 どちらでもない 3 いいえ 4 わからない

15-5

質問15-6 労働組合との関係がよくなったと感じますか。

- 1 はい 2 どちらでもない 3 いいえ 4 わからない

15-6

【全体】

質問16-1 OSHMS導入等の安全衛生(危険防止等)対策の対策費用(損失)は変化しましたか。

- 1 増加した 2 変化なし 3 減少した 4 以前からない 5 不明

16-1

質問16-2 OSHMS対象の事故・災害・疾病による損失は変化しましたか。

- 1 増加した 2 変化なし 3 減少した 4 以前からない 5 不明

16-2

質問16-3 OSHMS導入によって受注は増加したと感じますか。

- 1 はい 2 どちらでもない 3 いいえ 4 わからない

16-3

質問16-4 OSHMS導入によって売上は増加したと感じますか。

- 1 はい 2 どちらでもない 3 いいえ 4 わからない

16-4

質問16-5 OSHMS導入によって損益に貢献した(純利益増加)と感じますか。

- 1 はい 2 どちらでもない 3 いいえ 4 わからない

16-5

質問16-7 そのほか、OSHMS導入でどのような変化があったと感じますか(自由記載)。

質問17 導入、維持で困難な作業はどれでしたか(どれですか)。チェック(レ点)してください(複数可)。

- a リスクのリストアップ
- b リスクの分析(リスクの大きさの見積もり)
- c リスク評価(リスクがどの程度許容できるか)
- d 対策計画の立案
- e 労働者の参加
- f 費用
- g 監査
- h 認証

質問18 OSHMS実施で対策が奏効している分野はどれですか。チェック（レ点）してください（複数可）。

- a 機械・器具などの設備
- b 電気設備、建屋などの設備
- c 有害要因
 - c 1 化学物質、粉じん、酸素欠乏
 - c 2 騒音・振動
 - c 3 電離放射線、有害光線
 - c 4 温熱条件
 - c 5 その他の爆発性、発火性、引火性物質
- d 作業環境や、快適な職場環境
- e 作業、作業手順
- f 関係請負事業場に関すること
- g 交通災害や運搬業務
- h 安全衛生教育
- i 安全衛生活動
 - i 1 危険予知活動（KY）
 - i 2 4S活動（整理、整頓、清潔、清掃）
 - i 3 ヒヤリ・ハット報告活動
- j 緊急事態への対応（自然災害、火事）
- k 健康保持増進（生活習慣病対策）
- l 労働環境（過重労働、メンタルヘルス）
- m 喫煙対策

質問19 OSHMS導入において、計画立案、対策が困難と感じる分野はどれですか。チェック（レ点）してください（複数可）。

- a 機械・器具などの設備
- b 電気設備、建屋などの設備
- c 有害要因
 - c 1 化学物質、粉じん、酸素欠乏
 - c 2 騒音・振動
 - c 3 電離放射線、有害光線
 - c 4 温熱条件
 - c 5 その他の爆発性、発火性、引火性物質
- d 作業環境や、快適な職場環境
- e 作業、作業手順
- f 関係請負事業場に関すること
- g 交通災害や運搬業務
- h 安全衛生教育
- i 安全衛生活動
 - i 1 危険予知活動（KY）
 - i 2 4S活動（整理、整頓、清潔、清掃）
 - i 3 ヒヤリ・ハット報告活動
- j 緊急事態への対応（自然災害、火事）
- k 健康保持増進（生活習慣病対策）
- l 労働環境（過重労働、メンタルヘルス）
- m 喫煙対策

具体的な事例を収集しています。山口産業保健推進センターのスタッフが訪問してお話を伺ってよろしければ、連絡先をご記入ください。

貴事業場 住所 郵便番号

市・町

貴事業場 名称

電話番号

FAX番号

担当者御氏名

調査ご協力ありがとうございました。

労働安全衛生マネジメントシステムに関する調査票 B版 (C版と共通)

調査の目的

山口産業保健推進センターでは労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）の導入促進を行っています。わが国では労働災害件数が減少し、そのうえ団塊世代の退職を控えて労働安全衛生対策の経験者が少なくなっており、さらなる労働災害件数の減少のためにOSHMSの効果を期待しております。今回、OSHMSの導入の効果、導入の阻害要因を明らかにして、すでに導入している事業場やこれから導入しようとして検討している事業場への支援の資料とするために調査研究を行っております。調査の対象は山口県内の従業員数100人以上の製造業事業場です。本調査研究は独立行政法人労働者健康福祉機構の助成金で実施するものです。調査で得られた内容は事業場を特定できないようにして集計解析し、解析結果を研究発表会、資料作成、論文で公表しますが、目的以外の利用は行いません。

独立行政法人労働者健康福祉機構 山口産業保健推進センター

定義：本調査でOSHMSを導入しているとは、次のことを満たす活動のこととしました。

- 1) 危害防止基準の確立するための活動である。
- 2) 自主活動を促進している。一般スタッフの参加するボトムアップの活動である。
- 3) 総合的かつ計画的な対策で活動を行う。そのため統合管理システムを構築し、計画や評価を文書化し、PDCAサイクルで継続的な活動を行う。

以下の質問のご回答いただき、同封の封筒を利用して、10月19日（金）までにご返送いただきますようお願いいたします。

質問票

質問1 貴事業場の業種はどれですか。

- | | | |
|--------------|-----------------|--------------|
| 1 食料品製造業 | 2 衣服その他の繊維製品製造業 | 3 木材・木製品製造業 |
| 4 家具・装備品製造業 | 5 パルプ・紙・紙加工品製造業 | 6 印刷・製本業 |
| 7 化学工業 | 8 窯業・土石製品製造業 | 9 鉄鋼業 |
| 10 非鉄金属製造業 | 11 金属製品製造業 | 12 一般機械器具製造 |
| 13 電気機械器具製造業 | 14 輸送用機械等製造業 | 15 電気・ガス・水道業 |
| 16 その他の製造業 | | |

質問2 貴事業場の労働者数は何人ですか（マネジメント認証を受けている場合はその単位でお答えください）。そのうち、交代勤務者の割合はどれくらいですか。

2-1	人	そのうち交代勤務者	2-2	割
-----	---	-----------	-----	---

質問3 現在 OSHMSを導入していますか。どれかひとつ選んでください。

- 1 運用している 2 構築している 3 準備している 4 導入していない

選択枝1, 2, 3の場合、質問はこれで終わりです。

選択枝4の場合、以下の質問にお答えください。

質問3で選択肢4「導入していない」の場合、以下の質問4～6をご回答ください。

質問4 OSHMSの導入についてどのような状況ですか。

- 1 導入を考えている 2 導入を考えていない

4

質問5 OSHMSを導入していない（あるいは困難な）理由はどれですか。（複数可）

- a OSHMSを知らない
b 導入方法がわからない
c 効果がわからない
d 事業場の規模が小さすぎる
e サイト（拠点）がたくさんある
f スタッフが足りない
g 事故災害がない
h 費用がかかる
i OSHMS導入・実施は業務に支障がある
j ISO 9000やISO 14000を取得しており十分である
k そのほか

質問6 現在、貴事業場での事故災害の状況をお答えください。

質問6-1 現在の件数は多いと思っておりますか。

- 1 多い 2 ふつう 3 少ない 4 わからない

6-1

質問6-2 まだ減らせると思えますか。

- 1 はい 2 どちらでもない 3 いいえ 4 わからない

6-2

質問6-3 今後増える可能性があると思えますか。

- 1 はい 2 どちらでもない 3 いいえ 4 わからない

6-3

調査ご協力ありがとうございました。